



令和8年度

要 覧



宮古島市立教育研究所

< 経 営 方 針 >

宮古島市立教育研究所は、生涯学習への視点に立って、学校教育、社会教育、家庭教育の直面している課題を積極的に取り上げ、教育実践に結びついた教育活動の推進に寄与する。

目 次

I	設置の目的	-----	1
II	方 針	-----	1
III	事 業	-----	1
IV	組 織	-----	1
V	運 営	-----	2
VI	職 員 構 成	-----	2
VII	役割・任務の分担	-----	3
VIII	事 業 概 要	-----	4
IX	資 料		
	1 令和8年度主な事業計画	-----	7
	2 研究教員修了者一覧	-----	8
	3 歴代所長	-----	13
	4 沿 革	-----	14
X	教育支援センター「まていだ教室」	-----	21
<関係例規>			
	宮古島市立教育研究所設置条例	-----	38
	宮古島市立教育研究所設置条例施行規則	-----	39
	宮古島市立教育研究所運営委員会規則	-----	40
	宮古島市立教育研究所研究協力委員会設置要綱	-----	41
	宮古島市立教育研究所研究教員に関する規程	-----	42
	宮古島市立教育研究所図書及び資料貸出規程	-----	43
	宮古島市立教育支援センター設置規則	-----	44
	宮古島市教育相談室設置規則	-----	46

I 設置の目的

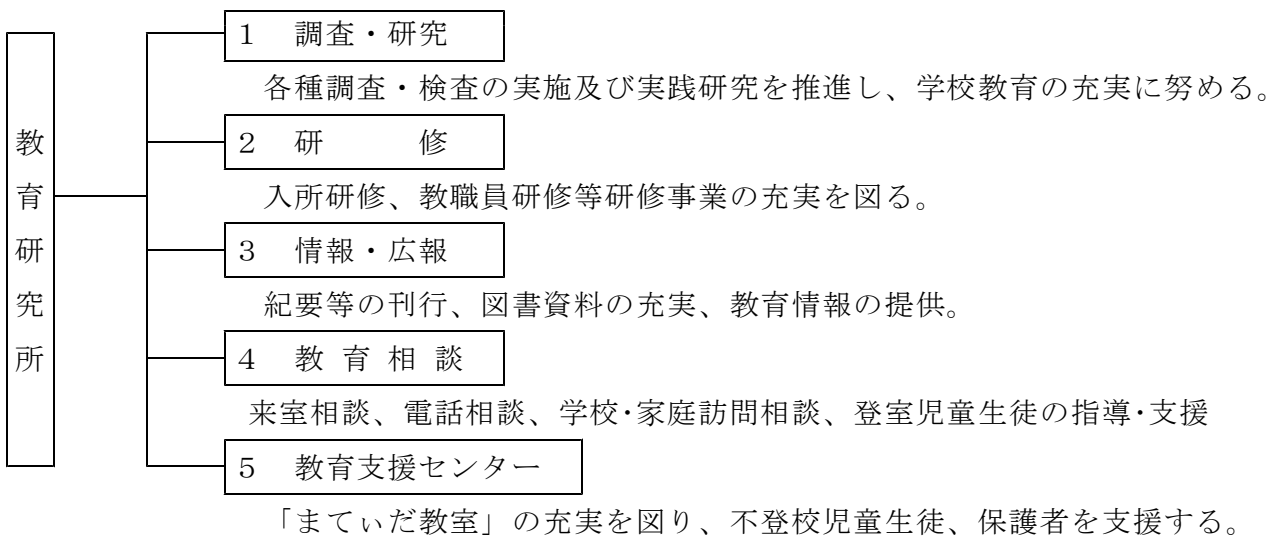
教育に関する専門的・技術的事項の研究及び教育職員の研修を行う
(宮古島市立教育研究所設置条例 第1条)

II 方針

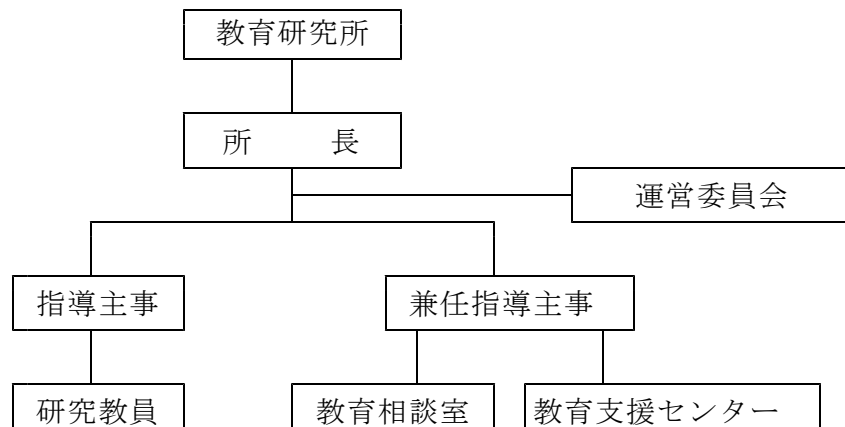
宮古島市立教育研究所は、生涯学習への視点に立って、学校教育、社会教育、家庭教育の直面している課題を積極的に取り上げ、教育実践に結びついた教育活動の推進に寄与する。

- 職員は自らの資質を高めるように努力し、協働体制のもと、子ども・学校・保護者への援助を行う
- 本市の現状を把握し、教育現場のニーズにあった援助を行う。
- 各教育機関との連携を図り、効果的な援助を行う。

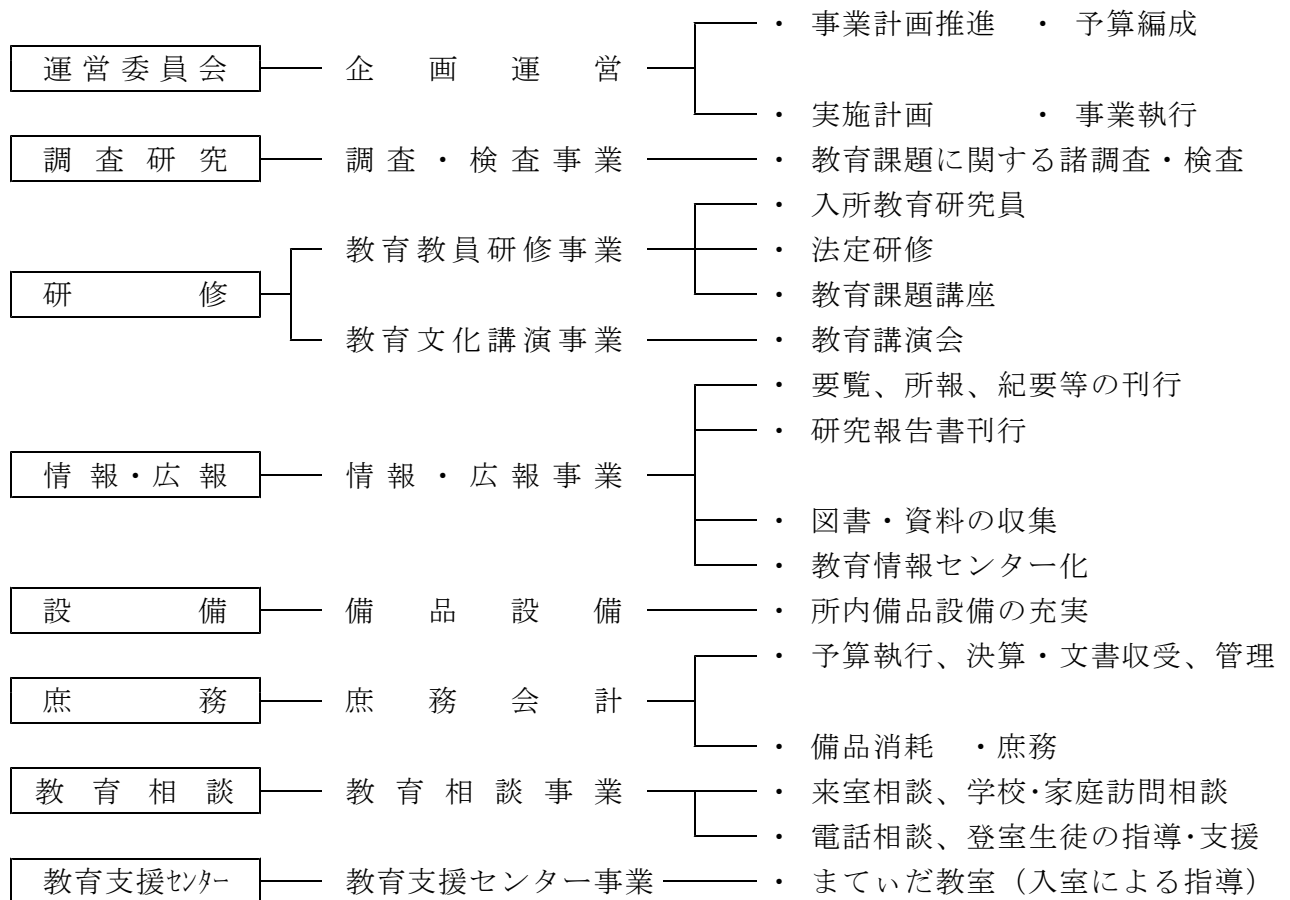
III 事業



IV 組織



V 運 営



VI 職 員 構 成

職 名	氏 名	担当職務
所 長	下地 辰彦	運営全般
指導主事	砂川 博喜	所務全般
事務職員	上里 佐和子	庶務全般・所務補佐
教育相談アドバイザー 教育相談員	乾 麗子 友利 尚子	来室相談、学校・家庭訪問相談 電話相談、登室生徒の指導・支援
まていだ教室指導教諭	平良 ゆか理	まていだ教室運営
まていだ教室指導員	平良 隆 前泊 直子	まていだ教室補佐

[令和8年度 第27期研究教員]

所属校	氏 名	教科・領域
宮古島市立西辺小学校	渡真利 有喜	小学校 国語
宮古島市立北中学校	本村 匡	中学校 保健体育

VII 役割・任務の分担

1 所長の職務

- (1) 教育研究所業務の統括に関する事
- (2) 教育研究所運営委員会に関する事。
- (3) 沖教連、九教連、教育支援センター協議会に関する事。
- (4) 研究教員の研究企画・指導助言に関する事。
- (5) 連携大学（福井大学、上越教育大学、琉球大学）との連携協定事業に関する事。
- (6) 沿革誌に関する事。

2 指導主事（専任）の職務

- (1) 教育研究所業務の実施・計画に関する事。
- (2) 年間行事の調整及び作成に関する事。
- (3) 所員会議の計画・立案・記録に関する事。
- (4) 教育研究日誌に関する事。
- (5) 教育研究所運営委員会の企画・運営に関する事。
- (6) 研究教員の募集、入所事務に関する事。
- (7) 予算編成・決算に関する事。（研究指定校含む）
- (8) 所報及び要覧の企画・編集に関する事。
- (9) 教育委員会・関連機関等との連絡調整に関する事。
- (10) 教育講演会及び教育課題実践講座等の企画・運営に関する事。
- (11) 教職員研修会の企画・運営に関する事。
- (12) 教員の働き方改革に関する事。（36協定、ハラスメント含む）
- (13) 連携大学（福井大学、上越教育大学、琉球大学）との連携協定事業に関する事。
- (14) 沖教連、九教連、教育支援センター協議会に関する事。
- (15) 図書資料の閲覧・貸出業務に関する事。
- (16) 公文書の收受：発送・保存に関する事。
- (17) 研究教員の研究企画・指導助言に関する事。
- (18) 研究教員の所内及び所外での研修の企画・運営に関する事。
- (19) 教育支援センター「まていだ教室」の経営・運営に係る指導助言に関する事。
- (20) 発達支援アドバイザー派遣事業に関する事。
- (21) 初任者研修、各経年経験者研修に関する事。

3 指導主事（兼任）の職務

- (1) 教育支援センター「まていだ教室」の経営・運営に係る指導助言に関する事。
- (2) 教育相談事業（教育相談室、まていだ教室）に関する事。

4 事務職員の職務

- (1) 指導主事の補佐業務に関する事。

- (2) 庶務会計に関すること。
- (3) 文書の收受・発送・保存に関すること。
- (4) 研究指定校予算・決算に関すること。
- (5) 連携大学の予算・決算に関すること。

5 教育相談員の職務

- (1) 来室相談に関すること。
- (2) 電話相談に関すること。
- (3) 訪問相談（学校、家庭）に関すること。
- (4) 登室児童生徒の指導・支援に関すること。

6 教育支援センター指導教諭の職務

- (1) 教育支援センター関係機関との渉外・企画運営に関すること。
- (2) 入室判定会議の運営に関すること。
- (3) 教育支援センターの企画運営・指導に関すること。
- (4) 学校復帰促進のための家庭・学校及び学級担任との連携に関すること。
- (5) 入室式・終業式の企画立案に関すること。
- (6) 入室・終了報告書の作成に関すること。
- (7) 教育支援センター研究報告書及び報告会の企画立案に関すること。

7 教育支援センター指導員の職務

- (1) 教育支援センター指導教諭の補佐業務に関すること。
- (2) 教育支援センターの諸行事の運営に関すること。
- (3) 学校復帰促進のために家庭・学校及び学級担任との連携に関すること。
- (4) 入室式・終業式の運営に関すること。
- (5) 教育支援センター研究報告書の刊行及び報告会の運営に関すること。

VIII 事業概要

1 調査・研究事業

- (1) 目的
各種調査・検査の実施及び実践的研究を推進し、学校教育の充実に努める。
- (2) 方針
 - ① 本市の現状に即した実践的な調査・研究を行い、その結果や成果を学校や教育委員会へ提供する。
 - ② 琉球大学教育学部、上越教育大学、福井大学教職大学院との連携を図り、調査・研究の専門家の助言を得ることにより、学校教育に有効なデータを提供する。

2 研修事業

(1) 目的

入所研修、教職員研修、教育文化講演会等研修事業の充実を図る。TV 会議システム等を活用した研修、講演会等を積極的に活用する。

(2) 方針

- ① 研究教員は、宮古島市及び今日の教育課題を踏まえた研修を推進し、研究と修養の理念に基づき、教育の専門家としての確かな力量と総合的な人間力を高め、資質の向上を図る。
- ② 研究教員の研究は、先輩教員や琉球大学教育学部との連携を図り、研究の進め方等への助言を得ることにより、研究の質の向上を図る。
- ③ 研究教員は、公開授業、報告書の作成、成果報告会により、研究の成果を教育関係者に提供すると共に、研究成果の検証・実践を行い、宮古島市の教育課題解決に資する。
- ④ 教職員研修・教育講演会は、現場のニーズに対応し、教職員の資質の向上を図る。

(3) 入所研修

市内の小学校・中学校教諭から年間2人と幼稚園教諭1人を選任し、前期及び後期の6ヶ月間の長期にわたり入所し、それぞれの教科・領域の研究テーマで研究を行い、研究の成果を報告書にまとめ報告会で発表する。

① 研修期間

前期 4月1日 ～ 9月30日

後期 10月1日 ～ 3月31日

② 募集人員 前期または後期にまとめて 2人～3人

(4) 教職員研修

市内の幼稚園・公立学校の教諭等を対象に、今日的教育課題や学校課題に即したテーマで研修会を開催し、学校教育の活性化に寄与する。

(5) 教育文化講演会

市民、教育関係者を対象に教育的、文化的テーマで講演会を開催する。

3 情報・広報事業

(1) 目的

- ・ 紀要等の刊行とインターネットを活用した情報を発信する。
- ・ 教育図書や県内外の教育研究資料を収集・整理し、閲覧や貸出を行う。

(2) 方針

- ① 開かれた教育研究所をめざし、効果的な方法で研究所の事業の周知を図る
- ② ホームページを通して研究情報を発信し、教育相談室、情報の共有化を図る。
- ③ 市内の研究指定校や県内の教育研究所等の研究紀要を収集整理し、教育関係者に提供する。
- ④ 研究教員報告書、まていだ教室実践報告書を刊行し、教育関係者に提供する。
- ⑤ パンフレットやリーフレットを作成し、教育研究所やまていだ教室、教育相談室の機能を知らせる。
- ⑥ 図書資料を充実し、教育関係者の研究を援助する。

4 教育相談事業

(1) 目的

宮古島市の児童生徒の問題行動や様々な悩みを持つ児童生徒の健全育成を支援するために必要な事項について相談を受け、児童生徒・教師・保護者の問題解決を支援する。

(2) 方針

- ①相談者の意向を傾聴し、問題解決に向けて、真摯な態度で向き合い、「心のふれあい」を大切にする。
- ②相談者のニーズにあった相談活動を行い、常に「最善の利益」を目指す。
- ③相談者のプライバシー保護の観点から「守秘義務」を徹底する。
- ④登室する児童生徒を受け入れ、学校・保護者と連携し支援する。

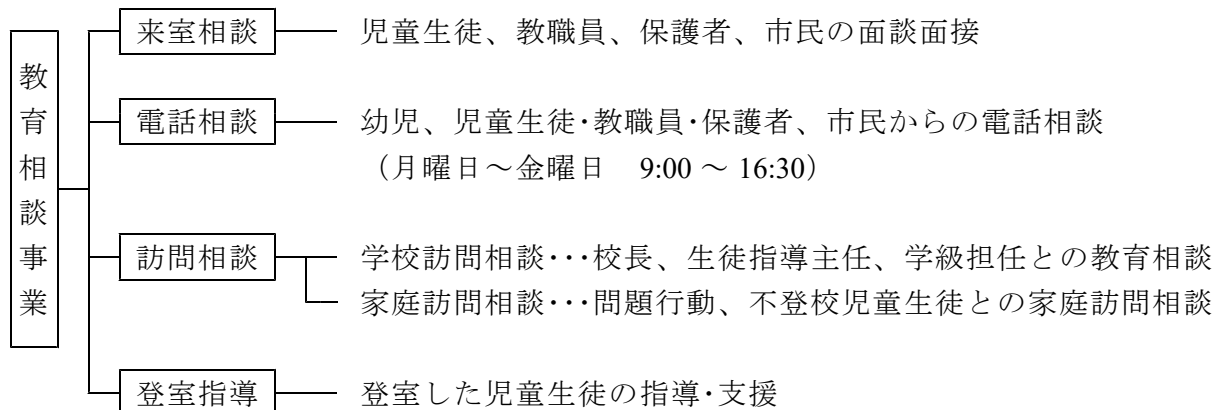
(3) 名称及び設置場所

宮古島市立教育相談室と称する。

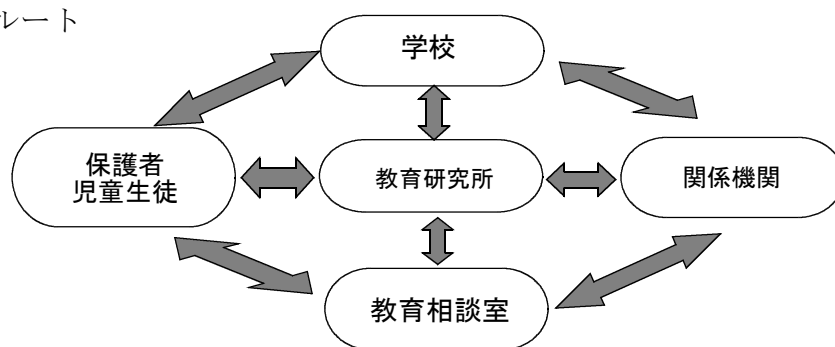
〒906-8501 宮古島市平良西里1140番地（宮古島市役所3階）

TEL 0980-79-7819 専用携帯 090-9789-3356

(4) 事業の概要



(5) 相談ルート



5 教育支援センター「までいだ教室」

(1) 目的

宮古島市内の心理的要因による不登校児童生徒に対して、個々の状態に応じた指導援助を行い、自立を促進し、社会性を養い、学校教育への適応促進を図る。

(2) 方針

- ①児童生徒一人一人のアセスメントを充実させ、個に応じた援助、指導の工夫改善を行う。
- ②教育相談、学習活動、体験的な活動を通して、集団活動への適応を図り、社会的な自立を図ると共に、在籍校への復帰を図る。
- ③学校、家庭、各関係機関との情報交換を密にし、連携・協力して、児童生徒の学校復帰を支援する。

IX 資料

1 令和8年度 主な事業計画

月	教育研究所	まていだ教室	教育相談室
4	<ul style="list-style-type: none"> ・学校課題アンケート実施 ・琉大アドバイザー事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ登校期間 ・施設見学、体験入室 ・継続申請受付、入室願書受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年業務（来室、電話相談、訪問相談、登室児童生徒の指導・支援等）
5	<ul style="list-style-type: none"> ・研究員事前研修① ・発達支援アドバイザー①② ・小中校長連絡会 ・上越教育大学セミナー① ・沖教連総会・沖適連総会 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別面談、保護者会 ・教室行事（遠足・平和学習等） ・体験活動（スポーツ、美術、栽培、調理実習） ・沖適連総会 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年業務 ・ミーティング
6	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究所運営委員会① ・研究員事前研修② ・発達支援アドバイザー③④ ・上越教育大学セミナー② 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足 ・平和集会 ・在籍校との情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年業務 ・ミーティング
7	<ul style="list-style-type: none"> ・研究員事前研修③ ・中堅研「社会体験研修」 ・ずみネット会議① ・上越教育大学セミナー③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動 ・チャレンジ登校 ・1学期終業式 ・保護者面談 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年業務 ・ミーティング
8	<ul style="list-style-type: none"> ・宮古島ラウンドテーブル 2026 ・上越教育大学セミナー④ 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期始業式 ・チャレンジ登校 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年業務 ・ミーティング
9	<ul style="list-style-type: none"> ・発達支援アドバイザー⑤⑥ ・上越教育大学セミナー⑤ 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動 ・保護者会 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年業務 ・ミーティング
10	<ul style="list-style-type: none"> ・第27期研究員入所式 ・発達支援アドバイザー⑦⑧ ・上越教育大学セミナー⑥ 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年業務 ・ミーティング
11	<ul style="list-style-type: none"> ・研究員検証授業 ・発達支援アドバイザー⑨⑩ ・上越教育大学セミナー⑦ 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年業務 ・ミーティング
12	<ul style="list-style-type: none"> ・研究員検証授業 ・上越教育大学セミナー⑧ ・琉大アドバイザー事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期終業式 ・体験活動 ・チャレンジ登校 ・保護者面談 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年業務 ・ミーティング
1	<ul style="list-style-type: none"> ・研究員検証授業 ・琉大アドバイザー事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期始業式 ・体験活動 ・チャレンジ登校 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年業務 ・ミーティング
2	<ul style="list-style-type: none"> ・研究教員「研究まとめ」 ・琉大アドバイザー事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年業務 ・ミーティング
3	<ul style="list-style-type: none"> ・研究教員成果報告会 ・ずみネット会議② ・教育研究所運営委員会② ・研究教員修了式 ・福井大学院派遣検討委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ登校 ・保護者面談 ・劇団鑑賞 ・閉室式、修了式 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年業務 ・ミーティング

2 研究教員修了者一覧

第1期《平成18年度 後期》 平成18年10月1日～平成19年3月31日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
与那覇 彰子 久松小学校	小学校 国語科	「読む力」を育てるための国語科学習の展開 ～音読指導の工夫を通して～
乾 麗子 平良第一小学校	教育相談	教育相談活動の充実をめざした連携の在り方

第2期《平成19年度 前期》 平成19年4月1日～平成19年9月30日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
嘉手苺 美智恵 久松中学校	中学校 特別活動	将来の生き方を考え、主体的に進路を選択する能力の育成 ～中学校におけるキャリア教育を通して～

第3期《平成19年度 後期》 平成19年10月1日～平成20年3月31日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
砂川 栄作 砂川小学校	小学校 算数科	学習意欲をもって学び合う問題解決的な学習の工夫 ～目的意識をもって取り組む主体的な算数的活動を通して～

第4期《平成20年度 前期》 平成20年4月1日～平成20年9月30日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
福原 理恵子 南小学校	小学校 音楽科	生き生きと歌う児童の育成 ～合唱指導の工夫を通して～

第5期《平成20年度 後期》 平成20年10月1日～平成21年3月31日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
友利 尚子 北中学校	中学校 美術科	主体的に鑑賞する生徒の育成 ～コミュニケーション活動の工夫を通して～

第6期《平成21年度 前期》 平成21年4月1日～平成21年9月30日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
下地 沙織 伊良部小学校	小学校 道 徳	道徳的实践力を育む道徳の授業 ～自分を見つめる指導の工夫を通して～

第7期《平成21年度 後期》 平成21年10月1日～平成22年3月31日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
近藤 崇士 東小学校	小学校 算数科	表現力を育成する授業の創造 ～算数的コミュニケーション活動の充実を通して～

第8期《平成22年度 前期》 平成22年4月1日～平成22年9月30日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
仲梶 京子 狩俣中学校	中学校 国 語	「話すこと・聞くこと」の力を育てる指導の工夫 ～目的や場面に応じた言語活動を通して～

第9期《平成22年度 後期》 平成22年10月1日～平成23年3月31日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
狩俣 典昭 北中学校	中学校 生徒指導	地域・関係機関と連携した「あそび・非行」不登校傾向生徒の支援 のあり方 ～開発的生徒指導の視点での支援の工夫～

第10期《平成23年度 前期》 平成23年4月1日～平成23年9月30日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
福原 保 西城小学校	小学校 理 科	見通しをもって問題解決に取り組む理科授業の工夫 ～演繹的な手法による学習展開を通して～

第11期《平成23年度 後期》 平成23年10月1日～平成24年3月31日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
上田 達大 久松小学校	小学校 国 語	論理的な思考を培う読解指導の工夫 ～文学・説明文における読解の条件を探る～

第12期《平成24年度 後期》 平成24年10月1日～平成25年3月31日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
上里 光枝 福嶺小学校	小学校 生活科	生活科における気付きの質を高める学習指導の工夫 ～1・2年共通題材「ダイズおいしいみそ造り」を通して～
砂川 千賀 西辺中学校	中学校 数 学	筋道を立てて考え、表現する能力を育む学習指導の工夫 ～「三角形と四角形」における論証指導を通して～

第13期《平成25年度 後期》 平成25年10月1日～平成26年3月31日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
下地 律子 北幼稚園	幼稚園	自ら進んで運動遊びを楽しむ環境構成や援助の工夫 ～運動有能感をもてる子どもの育成を目指して～
下地 林 西辺小学校	小学校 社会科	地域教材と知識の構造図を活用した社会科授業づくり ～中学年における社会科の学習を通して～
下地 直樹 久松中学校	中学校 道 徳	主体的に考え豊かな心を育てる学習指導の工夫 ～対話型授業とファシリテーション手法を通して～

第14期《平成26年度 後期》 平成26年10月1日～平成27年3月31日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
大庭 優子 下地小学校	小学校 国語科	語彙力を高める学習指導の工夫 ～低学年から国語辞典に慣れ親しませる活動を通して～
砂川 恵 平良中学校	中学校 道 徳	道徳的価値の自覚を深める授業展開の工夫 ～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりをとおして～

第15期《平成27年度 後期》 平成27年10月1日～平成28年3月31日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
下里 道代 佐良浜小学校	小学校 道 徳	思考を深める道徳授業づくり ～発問の工夫を通して～
平良 覚 池間中学校	中学校 数 学	科学的な思考力の育成を図る理科学習指導の工夫・改善 ～アクティブ・ラーニングの考え方を生かした PISA 型「読解力」向上の取り組み～

第16期《平成28年度 後期》 平成28年10月1日～平成29年3月31日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
砂川 智美 久松小学校	小学校 国 語	楽しく『わかる・できる』を目指した国語の授業づくり ～説明文文章教材における学習過程の工夫を通して～
金城 さやか 鏡原中学校	中学校 社 会	確かな学力の育成を目指した社会科学習における授業改善 ～小中連携の視点を生かした社会科の授業づくり～

第17期《平成29年度 後期》 平成29年10月1日～平成30年3月31日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
仲間 麻子 北小学校	小学校 特別活動	互いに認め合い、協力しながら活動できる子の育成 ～話し合い活動を通して～
洲鎌 ヒロ子 平良中学校	中学校 理 科	科学的な思考力・判断力・表現力を育む学習指導の工夫 ～主体的・対話的に学び合える課題設定・発問の工夫～

《適応指導教室：指導教諭》 平成29年4月1日～平成30年3月31日

氏名・所属校	研 究 テ ー マ
平良 多代子 平良中学校	自己肯定感を高める支援 ～体験活動を通して～

第18期《平成30年度 前期》 平成30年4月1日～平成30年9月30日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
新城 直人 佐良浜小学校	小学校 英 語	<小学校外国語活動・中学校英語> 主体的にコミュニケーションを図る資質・能力の育成 ～結の橋Eプランの作成を通して～
友利 芳江 佐良浜中学校	中学校 英 語	

第19期《平成31年度 前期》 平成31年4月1日～令和元年9月30日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
垣花 秀幸 東小学校	小学校 算 数	<小学校算数・中学校数学> 数学的見方・考え方の育成 ～小中連携のカリキュラム・マネジメントを意識した数学的活動の工夫を通して～
下地 美穂 平良中学校	中学校 数 学	

《適応指導教室：指導教諭》平成30年4月1日～令和2年3月31日

氏名・所属校	研 究 テ ー マ
與那覇 直美 下地小学校	個に応じた支援の工夫 ～各関係機関との連携、保護者支援を通して～

第20期《令和2年度 前期》 令和2年4月1日～令和2年9月30日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
砂川 博喜 北小学校	小学校 算 数	<小学校算数・中学校数学> 算数・数学科における指導と評価の一体化の実現 ～学習評価の工夫を通して～
小谷 匡輝 平良中学校	中学校 数 学	
奥平 千里 北幼稚園	幼稚園	<幼児教育> ※幼稚園研究員としては第2期 幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続 ～幼小連携を通して～

第21期《令和3年度 前期》 令和3年4月1日～令和3年9月30日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
上村 俊介 平一小学校	小学校 算 数	数学的な見方・考え方を働かせ主体的に学ぶ児童の育成 ～授業における ICT の効果的な活用を通して～
與那嶺 誉代 久松中学校	中学校 理 科	対話的な学びにより課題解決をする生徒の育成を目指す授業の工夫 ～ ICT の活用を通して～

《適応指導教室：指導教諭》令和2年4月1日～令和4年3月31日

氏名・所属校	研究テーマ
砂川 恵 北中学校	社会的自立に向けた支援の工夫 ～学校や地域との連携を軸にした支援体制の構築～

第22期《令和4年度 後期》 令和4年10月1日～令和5年3月31日

氏名・所属校	領域	研究テーマ
佐久本 拓実 南小学校	小学校 体育科	主体的に体育学習に取り組む児童の育成 ～中学年ゲームにおける「作戦づくり」を通して～
垣花 雄盛 平良中学校	中学校 社会科	社会的な見方・考え方を働かせ主体的に学ぶ生徒の育成 ～児童生徒の実態に応じた言語活動の指導の工夫を通して～

《適応指導教室：指導教諭》令和4年4月1日～令和6年3月31日

氏名・所属校	研究テーマ
与座 理恵子 久松中学校	自己肯定感を育む支援のあり方 ～体験活動を活かしたコミュニケーションを通して～

第23期《令和5年度 後期》 令和5年10月1日～令和6年3月31日

氏名・所属校	領域	研究テーマ
與那覇 将太 久松小学校	小学校 国語科	言葉による見方・考え方を働かせ主体的に学習課題の解決に向かう児童の育成 ～物語文における児童の実態に応じた手立ての工夫を通して～
渡真利 彩 鏡原中学校	中学校 英語科	主体的に学ぶ自立型学習者の育成を目指した授業改善 ～プロジェクト型学習(PBL)の実践を通して～

第24期《令和6年度 前期》 令和6年4月1日～令和6年9月30日

氏名・所属校	領域	研究テーマ
池間 強志 北中学校	中学校 社会科	社会を読み解く力を育成する社会科の授業改善 ～自ら問いを立て追求していく活動を通して～

第25期《令和6年度 後期》 令和6年10月1日～令和7年3月31日

氏名・所属校	領域	研究テーマ
宮國 博弥 伊良部島中学校	中学校 社会科	社会の形成者として課題解決に向け主体的に取り組む児童生徒の育成 ～ウェルビーイングを意識し、単元を見通した指導計画の工夫・改善～

第26期《令和7年度 後期》 令和7年10月1日～令和8年3月31日

氏名・所属校	領 域	研 究 テ ー マ
平良 ゆか理 北小学校	小学校 特別活動	当事者意識を持ち、係活動に主体的に取り組む児童の育成 ～自他の良さを認め合い、創意工夫を生み出す対話の工夫～
安里 あきの 伊良部島小学校	小学校 総合	ふるさとを想い、豊かに生きる児童の育成 ～地域素材をいかし、学びのプロセスを組み込んだ探求活動を通して～

《教育支援センター：指導教諭》 令和6年4月1日～令和8年3月31日

氏名・所属校	研 究 テ ー マ
堀田 万紀子 下地小中学校	登校復帰を目指した児童生徒支援 ～学校や保護者との連携の工夫～

3 歴代所長

	氏 名	期 間	備 考
1	島袋 正彦	平成18年4月1日～平成20年3月31日	学校教育課長兼任
2	本村 幸雄	平成20年4月1日～平成22年3月31日	非常勤
3	與儀 千寿子	平成22年4月1日～平成24年3月31日	非常勤
4	宮川 時子	平成24年4月1日～平成25年3月31日	非常勤
5	野原 敏之	平成25年4月1日～平成26年3月31日	非常勤
6	多良間 勉	平成26年4月1日～平成28年3月31日	非常勤
7	田場 秀樹	平成28年4月1日～令和2年10月31日	非常勤
8	垣花 秀明	令和2年11月1日～令和3年3月31日	学校教育課長兼任
9	平良 善信	令和3年4月1日～令和6年3月31日	常勤
10	濱川 成共	令和6年4月1日～令和6年5月10日	常勤
11	下地 辰彦	令和6年6月1日～	常勤

4 沿革

沿革(抜粋)

宮古島市立教育研究所は、平成17年2月28日宮古市町村教育長会長久貝勝盛平良市教育長より宮古市町村会長伊志嶺亮平良市長へ市町村合併の目玉として宮古島市立教育研究所の設置要請があり、平成18年3月29日3月議会で宮古島市立教育研究所設置承認され、平成18年4月3日に宮古島市立教育研究所が設置された。

平成18年度

- 4月3日 宮古島市立教育研究所開所式及び看板設置式
初代所長：島袋正彦(兼任)
主幹：池原宏吉(専任)、濱川成共(兼任)
主事：平良吉嗣(専任)
- 4月11日 適応指導教室・教育相談・サポートチーム関係者委嘱状交付式
- 6月19日 教育委員会下地分室から下地庁舎へ事務所移転
- 8月25日 宮古島市適応指導教室(まていだ教室)旧市町村会館より移転 特別研究員：下地真喜子
嘱託指導員：下地友香理、与那嶺周子
- 10月2日 平成18年度後期(第1期)研究教員入所式
乾麗子(平良第一小)、与那覇彰子(久松小)
- 1月30日 教育相談室旧市町村会館より移転
相談員(下地節子、久貝清順、安慶田昌宏、与那覇真)
- 3月13日 第1回研究教員成果報告会
- 3月15日 第1期研究教員 修了式

平成19年度

- 4月1日 所長 島袋正彦(兼任:学校教育課長)
主幹 友利直喜(兼任:学校教育課主幹)
指導主事(専任) 乾邦夫、(嘱託)本村幸雄
(適応指導教室) 指導教諭:下地真喜子
指導員:下地友香理、与那嶺周子
(教育相談室) 平良加代子、福里廣太郎、安慶田昌宏、与那覇真
- 4月3日 平成19年度前期(第2期)研究教員入所式
嘉手苺美智恵(久松中学校教諭)
- 5月18日 琉球大学教育学部と宮古島市教育委員会の協定調印式
- 6月1日 まていだ教室入室式
- 6月15日 教育研究所ホームページ開設
- 7月20日 琉球大学教育学部 津田正之准教授による研修会開催
- 9月5日 第2回研究成果報告会(下地庁舎1階会議室)
- 9月21日 第2期研究教員 修了式
- 10月1日 平成19年度後期(第3期)研究教員入所式
砂川栄作(砂川小学校教諭)
- 12月14日 琉球大学教育学部 小田切忠人教授による研修会開催(下地庁舎)
- 1月9日 琉球大学教育学部 吉田安規良准教授と伊藤彰英准教授による理科公開授業と意見交換会(鏡原中学校)
- 2月29日 長崎大学一鹿児島大学一琉球大学による、「教育フォーラム in 宮古」開催
- 3月11日 第3回研究成果報告会(下地庁舎1階会議室)
- 3月21日 平成19年度 まていだ教室閉室式
- 3月27日 第3期研究教員 修了式

平成20年度

- 4月1日 所長(非常勤) 本村 幸雄
指導主事(兼任) 友利直喜(専任) 乾邦夫
(適応指導教室) 指導教諭:宮国貴子
指導員:松本美智子、上地千鶴
(教育相談室) 垣花征一、普天間裕
砂川和子、久貝清順
- 4月2日 平成20年度前期(第4期)研究教員入所式
福原理恵子(南小学校教諭)
- 5月23日 平成20年度第1回まていだ教室協力委員会
- 5月28日 平成20年度 第1回まていだ教室入室式
- 9月3日 第4回研究成果報告会(下地庁舎1階会議室)
- 9月18日 第4期研究教員 修了式
- 10月1日 平成20年度後期(第5期)研究教員入所式
友利尚子(北中学校教諭)
- 10月31日 第2回まていだ教室協力委員会
- 11月7日 第2回まていだ教室入室式
- 11月14日 琉球大学教育学部 浅井玲子准教授による研修会
- 12月19日 琉球大学教育学部 緒方茂樹教授、都城市立明道小学校 石本隆士教諭による研修会
- 3月11日 第5回研究成果報告会(下地庁舎1階会議室)
- 3月23日 平成20年度 まていだ教室終業式
- 3月25日 第5期研究教員 修了式

平成21年度

- 4月1日 平成21年度職員構成
所長(非常勤) 本村幸雄
指導主事(兼任) 友利直喜、(専任) 乾邦夫
(適応指導教室) 指導教諭:宮国貴子
指導員:上地千鶴、國仲ひとみ
(教育相談室) 砂川和子、久貝清順、島尻君枝、前川尚代
- 4月2日 平成21年度前期(第6期)研究教員入所式:
下地沙織(伊良部小学校教諭)
- 6月18日 第1回運営委員会
副委員長:野原敏之(校長)
委員:緒方茂樹(琉球大学教授)
下地政昭(教育事務所)、小谷優(市教委課長)
- 6月29日 研究所主催「学校HP更新に係る研修会」
- 7月6日 平成21年度第1回まていだ教室協力委員会、
委員長:辺土名則子(校長)
副委員長:乾麗子(教頭)
委員:川浦弥生、佐久本聡、小谷優、友利直喜
- 8月4日 研究所主催夏休み実技研修会 ~6
- 9月9日 第6回研究成果報告会
- 9月28日 第6期研究教員 修了式
- 10月1日 平成21年度後期(第7期)研究教員入所式
近藤崇士(東小学校教諭)
- 10月28日 平成21年度第2回まていだ教室協力委員会
- 3月11日 第7回研究成果報告会
- 3月26日 第7期研究教員 修了式

平成22年度

- 4月1日 平成22年度職員構成
所長(非常勤) 與儀千寿子
指導主事(兼任) 前泊一郎、(専任) 砂川修
<適応指導教室> 指導教諭 亀川典子
指導員:前川尚代、砂川さつき
<教育相談室> 相談員:濱元誠喜、狩俣芳子、宮平幸子、立津和代
- 4月1日 平成22年度前期(第8期)研究教員入所式
仲根京子(狩俣中学校教諭)
- 5月19日 第1回まていだ教室協力委員会
委員長:平良ヒロ子、委員長:乾麗子
委員:川浦弥生、佐久本聡、乾邦夫、前泊一郎
- 6月4日 第1回運営委員会・運営委員委嘱状交付
委員長:儀間裕芳、副委員長:野原敏之
委員:緒方茂樹(琉球大学) 平良善信(教育事務所)、乾邦夫(市教委)
- 8月2日 研究所主催夏休み実技研修会「HP作成講座」
- 8月13日 研究所主催夏休み研修会「予防的・開発的教育相談の工夫」
- 8月19日 研究所主催夏休み研修会「感想文・感想画実技研修会」
- 9月8日 第8期研究教員研究成果報告会
- 9月30日 第8期研究教員 修了式
- 10月1日 後期(第9期)研究教員入所式
狩俣典昭(北中学校教諭)
- 10月27日 第2回まていだ教室協力委員会
- 2月10日 第2回宮古島市教育委員会との連携・協定に関する連絡推進会議
- 3月8日 研究成果報告会
- 3月9日 第2回運営委員会
- 3月28日 第9期研究教員 修了式

平成23年度

- 4月1日 平成23年度職員構成
所長(非常勤) 與儀千寿子
指導主事(兼任) 前泊一郎、(専任) 砂川修
<適応指導教室> 指導教諭:亀川典子
指導員:前川尚代、砂川さつき
<教育相談室> 相談員:濱元誠喜、狩俣芳子、宮平幸子、立津和代
- 4月4日 平成23年度前期(第10期)研究教員入所式
福原保(西城小学校教諭)
- 5月20日 第1回運営委員会・委嘱状交付
委員長:緒方茂樹(琉球大)、副委員長:平良隆(校長)
委員:知念安則、島尻政俊、乾邦夫
- 5月23日 第1回まていだ教室協力委員会委嘱状交付

委員長:平良ヒロ子、副委員長:乾麗子
 委員:川浦弥生、佐久本聡、乾邦夫、前泊一郎
 6月2日 授業づくり研修会(理科)西城小学校
 6月27日 小学校における「伝統的な言語文化」の授業づくり研修会(国語)
 7月1日 研究協力委員委嘱状交付・第1回委員会
 8月8日 研究所主催夏期研修会
 表計算ソフト「エクセル」活用講座
 8月17日 研究所主催夏期研修会
 「記憶につながるノートづくり」
 8月19日 第1回宮古島市教育委員会との連携・協定に関わる連絡推進会議
 研究成果報告会
 9月8日 第10期研究教員 修了式
 9月28日 平成23年度後期(第11期)研究教員入所式
 上田達大(久松小学校教諭)
 12月7日 第2回まていた教室協力委員会
 2月23日 第2回宮古島市教育委員会との連携・協定に関わる連絡推進会議
 研究成果報告会
 3月7日 第2回運営委員会
 3月16日 第11期研究教員 修了式
 3月28日

平成24年度

4月1日 平成24年度職員構成
 所長(非常勤) 宮川時子
 指導主事(兼任) 松本 尚、(専任) 砂川 修
 <適応指導教室>指導教諭:比嘉公代
 指導員:狩俣芳子、下地真奈美
 <教育相談室>相談員:宮平幸子、立津和代、宮國芳美、久貝清順
 5月25日 第1回運営委員会
 委員長:緒方茂樹(琉球大学教授)
 副委員長:平良隆(校長)
 委員:知念安則、宮川梧、乾邦夫
 5月28日 第1回研修会 講師:平良優(南小教諭)
 5月30日 第12期研究教員事前研修会
 6月4日 第2回研修会 講師:本村幸雄(元所長)
 7月31日 夏期研修会「総合的な学習の時間」
 講師:前泊直子(伊良部小教頭)
 8月3日 夏期研修会「水彩画ワークショップ」
 講師:右田亜子(スヘースあこ)
 8月8日 夏期研修会「感想文・画講座」
 講師:與儀千寿子、平良ヒロ子
 8月14日 夏期研修会「学級づくり講座」
 講師:伊波裕子(西城中教諭)
 8月16日 夏期研修会「リコーダー実技研修」
 講師:棚原俊平
 8月17日 夏期研修会「教育相談の方法」
 講師:伊藤義徳(琉大教授)
 10月10日 平成24年度後期(第12期)研究教員入所式
 上里光枝(福嶺小)、砂川千賀(西辺中)
 1月22日 検証授業(公開)西辺中学校
 1月29日 検証授業(公開)福嶺小学校
 2月28日 第2回運営委員会
 3月8日 第2回宮古島市教育委員会との連携・協定に関わる連絡推進会議
 研究成果報告会、修了式
 3月26日

平成25年度

4月1日 平成25年度職員構成
 所長(非常勤) 野原敏之
 指導主事(兼任) 松本 尚、(専任) 下地忠夫
 <適応指導教室>指導教諭:比嘉公代
 指導員:砂川恵、平良ゆかり
 <教育相談室>相談員:立津和代、宮平幸子、平良勝也、久貝清順
 4月4日 初任研指導教員等命課式
 4月11日 第1回初任者研修会
 5月29日 生活リズムに関する講演会
 講師:教育研究所 所長:野原敏之
 6月14日 第1回運営委員会
 6月17日 文科省調査官招聘事業に係る公開授業(理科)及び講演会 講師:文科省調査官:塚田昭一氏
 6月18日 文科省調査官招聘事業に係る学校訪問(理科)西辺小、下地小
 6月26日 文科省調査官招聘事業に係る公開授業(外国語)及び講演会 講師:文科省調査官:平木 裕氏
 7月9日 第1回琉大連携推進会議(ずみネット)
 8月1日 夏期研修会①「感想画」講座

講師:久松小教頭:下地 操 氏
 夏期研修会②「感想文」講座
 講師:元校長:與儀千寿子 氏
 夏期研修会③「タブレット活用」講座
 講師:NTT西日本とトコモショップ 南店スタッフ
 第3回初任者研修会(史跡巡り)
 講師:市生涯学習振興課:新城宗史 氏
 夏期研修会④「運動理論を踏まえた体育活動」(鏡原小) 講師:教育研究所長:野原敏之 氏
 実技指導:狩俣小教頭 比嘉豊樹 氏
 第13期長期研究教員入所式
 10月1日 研究所城辺支所より旧城辺支所長室へ移転
 10月2日 第13期長期研究教員中間報告会
 11月27日 検証授業①中学校道徳 授業者:下地直樹教諭
 12月20日 上地完治琉大教授招聘講演会 講話「モラルジレンマ授業の可能性と限界」
 1月10日 玉城きみ子琉大准教授研修会「国語の授業づくりについての理論研究会」
 1月27日 第1回研究協力委員会
 1月28日 検証授業②小学校社会「特色ある地域と人々のくらし」授業者:下地林教諭
 加藤好一琉大教授招聘講演会 講話「こどもの関心・意欲を高める社会科授業構成と評価」
 1月31日 検証授業③中学校道徳「薬物から身を守る」授業者:下地直樹教諭
 上地完治琉大教授招聘講演会 講話「これからの道徳授業づくりへの提言」
 2月10日 大城貞俊琉大教授招聘講演会
 演題「学力向上に向けて家庭教育でできること」
 2月13日 文科省調査官招聘公開授業及び講演会(小学校国語) 授業者:友利徳寿教諭
 講演「言語活動をとおして指導事項を指導する国語科学習の展開」講師:文科省調査官:樺山敏郎 氏
 2月17日 検証授業④幼稚園「運動遊び」授業者:下地利津子教諭 吉業研司琉大教授招聘講演会
 2月19日 第2回運営委員会
 3月1日 琉大教育学部附属教育実践総合センター地域連携事業部門報告会
 琉大連携推進事業内容発表報告(教育研究所指導主事:下地忠夫)
 3月7日 吉田浩之琉球大学教授招聘講演会
 3月17日 平成25年度(第13期)研究成果報告会
 3月18日 第2回琉大連携推進会議(ずみネット)
 3月26日 第13期長期研究教員修了式

平成26年度

4月1日 平成26年度職員構成
 所長(非常勤) 多良間 勉
 指導主事(兼任) 松本 尚、(専任) 下地忠夫
 <適応指導教室>指導教諭:濱川貴美子
 指導員:玉城湖紀、前泊美千代
 <教育相談室>相談員:久貝清順
 4月16日 大城貞俊琉大教授招聘研修会
 5月9日 第1回長期研修員事前研修
 5月22日 第2回長期研修員事前研修
 6月2日 第1回運営委員会
 6月12日 第1回初任者研修会
 6月25日 教育研究所講座(教育法規) 講師:新里益弘氏
 7月2日 沖縄県適応指導教室連絡協議会講演会
 講師:名城大大学院准教授 曾山和彦
 7月4日 第1回琉球大学連携推進会議(ずみ!ネット)
 7月24日 第3回長期研究教員事前研修
 7月30日 夏季研修会「感想画の指導法」
 講師:久松小教頭 下地操先生
 8月1日 夏季研修会「語彙力を高める視写・聴写の指導の工夫」講師:與儀千寿子氏
 8月4日 川上一琉大准教授研修会(生徒会活動)「リーダー研修会」
 8月5日 夏季研修会「ICTの活用(動画編集)」講座
 8月8日 第2回初任研・10年研「史跡巡り研修会」講師:新城宗史、岩本大輔氏
 8月13日 夏季研修会「陸上競技の指導法」講座
 講師:琉大教育学部 砂川力也氏
 8月18日 夏季研修会「音楽を通しての特別支援教育」講座
 講師:シャイヤステ榮子
 10月1日 第14期長期研究教員入所式
 11月27日 第14期研究教員中間報告会
 12月11日 文科省調査官招聘事業に係る学校訪問
 東小学校授業者:堀田万紀子先生
 12月12日 文科省調査官招聘事業講演会(東小)

講師：赤堀博行「道德」調査官
 1月19日 玉城きみ子琉大准教授招聘研修会
 1月23日 研究教員「道德」検証授業
 砂川恵教諭 與儀千寿子先生招聘
 1月30日 研究教員「小3国語」検証授業 大庭優子教諭
 2月2日 第1回研究教員公開検証授業「中学道德」
 授業者：平良中 砂川恵教諭 講師：琉球大学
 教授 上地完治 氏
 2月6日 第2回研究教員公開検証授業「小学国語」
 授業者：下地中 大庭優子教諭
 講師：琉球大学准教授 玉城きみ子 氏
 2月24日 第2回教育研究所運営委員会
 3月2日 宮古地区中学校英語研修会（福嶺中学校）
 授業者：砂川律子教諭
 講師：琉球大学教授 大城賢 氏
 3月7日 琉球大学教育学部附属教育実践総合センター地域連
 携事業部門成果報告交流会
 3月12日 第14期研究教員成果報告会
 大庭優子教諭(下地小)、砂川 恵(平良中)、濱
 川貴美子教諭
 3月13日 第2回琉大連携推進会議(ずみ！ネット)
 3月26日 第14期研究教員修了式

平成27年度

4月1日 平成27年度職員構成
 所長(非常勤) 多良間 勉
 指導主事(兼任) 与那覇周作、(専) 垣花秀明
 <適応指導教室>指導教諭：濱川貴美子
 指導員：高本純子、松山隆志
 <教育相談室>相談員：久貝清順、平良ヒロ子
 4月24日 「辞書引き学習」公開授業・講演会
 講師：中央大学准教授 深谷圭助 氏
 5月7日 第1回長期研修員事前研修
 琉球大学吉田安規良准教授招聘
 5月21日 第2回長期研修員事前研修
 琉球大学上地完治教授招聘
 5月29日 沖縄県適応指導教室連盟連絡協議会
 沖縄県教育研究所連盟連絡協議会
 6月2日 小学校理科教科書研修会
 講師：啓林館大阪本社編集部職員
 6月11日 第1回初任者研修会
 6月16日 第1回教育研究所運営委員会
 7月1日 第1回適応指導教室協力委員会
 7月8日 第1回琉球大学連携推進会(ずみ！ネット)
 7月16日 第1回宮古不登校対策重点地区連絡会
 7月23日 夏季研修会「読書感想文指導法講座」
 講師：與儀千寿子 氏
 7月24日 夏季研修会「読書感想文指導法講座」
 講師：平良ヒロ子 氏
 8月4日 夏季研修会「生活科研修会」
 事例発表 北小 上里光枝教諭
 講師：宮古教育事務所宮國和美指導主事
 8月5日 幼稚園10年研「はなぞのこどもえん」訪問体
 験研修
 8月10日 10年研社会体験研修～11日
 8月19日 夏季研修会「秋田に学ぶ授業づくり」
 講師：鏡基倫教諭(平良中)、下地豊(羽城中)
 8月20日 夏季研修会「器械運動の段階的指導法」
 講師：琉球大学 砂川力也 氏
 8月21日 夏季研修会「子ども理解について」
 講師：琉球大学 平田幹夫 教授
 8月25日 第2回初任研・10年研(体研研修)
 「史跡巡り研修会」講師：新城宗史氏、「織物体
 験」講師：岩本大輔氏
 9月5日 科学の甲子園ジュニア宮古地区大会
 9月24日 幼稚園10年研「アプローチ」について
 9月25日 第2回適応指導教室協力委員会
 10月1日 第15期長期研究教員入所式
 10月21日 タブレットPC活用研修会
 講師：下地中 座間味浩二 教諭
 10月22日 全適連四国九州地域会議沖縄大会～23日
 10月28日 道德教育指導者養成研修～30日
 研究教員：下里道代教諭
 11月16日 出前授業：本川達雄先生(元東京工業大学教授)
 11月17日 出前授業：本川達雄先生 (伊良部小・砂川中)
 11月20日 第65回九州理科教育研究9大会沖縄大会
 11月27日 第15期研究教員中間報告会
 指導助言：上地完治教授、吉田安規良准教授
 12月7日 第2回宮古不登校対策重点地区連絡会
 12月14日 第3回適応指導教室協力委員会
 1月14日 PTA 研修会「秋田の教育～学校・保護者・地域

の取組～」
 1月27日 検証授業①「道德」下里道代教諭
 指導助言 琉球大学 上地完治教授
 検証授業②「理科」平良覚教諭
 指導助言 琉球大学 吉田安規良准教授
 講話「科学的な思考力を高める理科授業について」
 2月25日 スタートカリキュラム研修会
 講師：宮古教育事務所宮國和美指導主事
 2月29日 宮古地区中学校英語研修会
 公開授業：上原大輝教諭(北中)、
 指導助言：琉球大学大城賢教授
 伊良部小校内研修「国語」 琉球大学 玉城き
 み子准教授招聘
 3月5日 琉大教育実践センター地域連携事業成果報告会
 平良覚教諭研究成果報告
 3月9日 第3回宮古不登校対策重点地区連絡会
 3月15日 第15期研究教員研究成果報告会
 3月16日 第2回琉球大学連携推進会(ずみ！ネット)
 3月17日 第4回適応指導教室協力委員会
 3月22日 第2回教育研究所運営委員会
 3月28日 第15期研究教員修了式

平成28年度

4月1日 平成28年度職員構成
 所長(囑託) 田場 秀樹
 指導主事(兼任) 与那覇周作、専任) 垣花秀明
 <適応指導教室>指導教諭：平良多代子
 指導員：松山隆志、與那覇周子
 <教育相談室>教育相談員：乾麗子、平良隆
 4月26日 沖縄県教育研究所連盟担当者連絡協議会
 4月28日 教育相談員等連絡会
 5月16日 教育相談に係る学校訪問 ～30日
 5月21日 教職教養講座
 5月27日 県適応指導教室連盟総会 県教育研究所連盟総
 会・研究協議会
 6月8日 第2回宮古地区教育相談員等連絡協議会
 6月10日 教職教養講座(教育原理)
 6月11日 教職教養講座(教育心理)
 6月16日 文科省調査官招聘公開授業・講演会
 7月7日 第1回協力委員会
 7月8日 ずみ！ネット推進会議①
 7月20日 まていた教室入室式
 8月3日 長期研究員事前研修会(金城さやか、砂川智美)
 8月19日 琉球大学平田教授との面談及び子ども理解保護
 者交流会
 8月29日 道德授業作り研修会(宮城教育大教職大学院
 相澤秀夫教授)
 8月30日 教育相談員等連絡協議会
 9月12日 ICTドリームスクール会議
 9月15日 第2回協力委員会
 9月21日 まていた教室入室式
 9月30日 教育相談員等連絡協議会
 10月3日 平成28年度長期研究教員(第16期)入所式
 砂川智美教諭(久松小)、金城さやか教諭(鏡原中)
 琉球大学教授招聘中学校英語研修会
 10月27日 九教連研究発表大会(沖縄大会：沖縄産業支援
 センター)～11日
 11月12日 琉大教職大学院オープンセミナー
 11月29日 長期研究教員中間報告会
 2月18日 琉大教職大学院セミナーⅡ
 2月28日 第16期研究成果報告会
 3月1日 第2回ずみ！ネット推進連絡会議
 3月3日 教育相談等連絡協議会
 3月13日 適応指導教室協力員会
 3月22日 総務省関係者視察団来訪
 3月28日 第16期長期研究教員修了式

平成29年度

4月1日 平成29年度職員構成
 所長(囑託) 田場 秀樹
 指導主事(兼任) 与那覇周作、専任) 垣花秀明
 <適応指導教室>指導教諭：平良多代子
 指導員：松本美智子・下地洋子
 <教育相談室>教育相談員：乾麗子、平良隆
 4月3日 教育委員会及びまていた教室指導員辞令交付式
 5月15日 教育相談に係る学校訪問(教育相談員)～26日
 5月26日 沖縄県適応指導教室連盟総会
 沖縄県教育研究所連盟総会・研究協議会
 6月1日 宮古島市第1回初任者研修会
 6月10日 教職大学院セミナー 教職教養講座(教育原理)
 6月11日 教職教養講座(教育心理、教育法規)

6月18日 司書教諭・学校図書館司書等研修会
7月5日 第1回ずみ！ネット推進会議
7月18日 第1回まていだ教室入室判定会議
8月9日 第2回宮古島市初任者研修会（教育資源視察研修・エコ関係施設）
8月17日 プログラミング教育研修会
8月18日 ICT機器活用基礎研修会
9月14日 情報教育セキュリティポリシー対策会議
10月2日 平成29年度後期研究教員入所式
10月19日 仲間麻子教諭（北小）、洲鎌ヒロキ教諭（平良中）理科授業研究会・講話（西辺中：授業者：與那覇正人教諭、指導助言・講話：吉田安規良琉球大学教授）
10月24日 教育ICTセミナー in 宮古島
11月13日 第2回入室判定会議
11月21日 総務省実証事業次世代ICT会議（所長：東京）
11月30日 長期研究教員中間報告会（指導助言：吉田教授、丹野教授）
12月1日 長期研究教員研究協議（吉田教授、丹野教授）
1月12日 総務省実証事業「プログラミング」教育地方成果報告会
1月17日 熊本県八代市議会行政視察
1月30日 岩澤一美准教授まていだ教室訪問
2月10日 琉大教職大学院「がんばれ先生！応援セミナー」
2月16日 総務省実証事業評価委員学校訪問（久松小・中、下地小・中）
2月20日 国立学校法人上越教育大学との連携協定締結式
2月21日 岡山県津山市議会緑風議員行政視察（宮古島市立教育研究所について）
2月28日 長期研修研究教員成果報告会（吉田教授・丹野教授が指導助言）
3月1日 第2回ずみ！ネット推進会議
3月14日 まていだ教室入室判定会議
3月15日 総務省実証事業に係る研修「情報セキュリティ」
3月29日 第17期長期研究教員修了式

平成30年度

4月1日 平成30年度職員構成
所長（囑託）田場 秀樹
指導主事：兼任：與那覇正人、専任：座間味浩二
＜適応指導教室＞指導教諭：與那覇直美
指導員：松本美智子、下地洋子
4月2日 平成30年度定期人事異動辞令交付式
4月4日 第18期研究教員入所式
小学校英語：新城直人（佐良浜小）、中学校英語：友利芳江（佐良浜中）
適応指導教室：與那覇直美（下地小学校）
5月11日 宮古地区教育相談員等連絡協議会
5月16日 ライフスキル教育講習会
EDIX 視察、上越教育大訪問～19日
5月23日 特別支援教育講話・まていだ教室（琉球大学：丹野教授）
5月25日 沖適連総会（午前）、沖教連総会（午後）
6月1日 小学校外国語活動担当教諭指導力向上研修会
6月9日 教職教養講座①（琉大：藏満先生）
6月10日 教職教養講座②・③（琉大：藏満先生、田中先生）
6月22日 中堅研③（琉大室田先生：授業者づくり）
6月27日 適応指導教室入室に係る協力委員会
7月4日 ずみネット会議
7月12日 佐良浜小学校英語検証授業（指導助言：大城教授）
7月13日 伊良部小学校英語検証授業①
7月19日 伊良部小学校英語検証授業②
7月30日 教師力アップ「教育の情報化研修会」
8月1日 小学校プログラミング教育出前講座（南小）
8月2日 総合的な学習の時間担当者研修会（上越教大：清水先生）「教育情報化推進計画検討会議」
8月3日 第2回初任研（市教委：エコ関連施設見学）
8月6日 幼児教育スタートカリキュラム研修会（宝来先生：上教大）
8月8日 第1回総務省実証事業地域協議会
8月10日 第2回教育情報化推進委員会
8月13日 LQライフスキル教育研修会～16日
8月21日 小学校プログラミング教育出前講座（東小）
8月27日 小学校プログラミング教育出前講座（平一小）
8月28日 小学校プログラミング教育出前講座（下地小）
8月29日 教師力アップ学級づくり研修会（琉大：丹野先生）
8月30日 適応指導教室研修会（琉大：丹野先生）
9月4日 第18期研究員研究報告会（琉大：大城先生）
9月26日 第18期長期研究員修了式
10月12日 沖適連宮古地区後援会
10月18日 第3回教育情報化推進委員会

10月23日 下地中学校校内研（座間味）～24日
11月6日 久松中学校校内研（座間味）
11月7日 文科省教科調査官（数学）招聘授業（座間味）
11月8日 幼稚園学力向上研修会遠隔講話（上教大特任准教授：長谷川先生）
11月14日 外国語授業研（伊良部小：新城直人）
11月21日 ICT活用講座（久松小：座間味）
11月28日 幼稚園教育課程連絡協議会
12月6日 教育支援員会
12月10日 教育情報セキュリティeラーニング実施
12月17日 ICT活用授業実践（久松小）
1月16日 スマートスクールAI英会話活用授業（久松中）
1月18日 スマートスクールAI英会話活用授業（下地中）
1月24日 愛媛県久万高原町ICT視察来島
1月23日 長期研究員授業実践
2月4日 スマートスクール総務省ヒヤリング
2月8日 ライオンズQW全国大会 in 福岡
2月18日 まていだ教室体験講話（みずきさん：つくば開成）
2月22日 プログラミング出前講座（北小）
2月25日 小中連携運営委員会
2月28日 第2回ずみネット連絡協議会
宮古島市立教育研究所実践研究発表会
3月1日 総務省スマートスクール実証事業成果報告会
3月6日 茨城県大谷小（LQライフスキル教育実践校）視察
3月14日 宮古島～上教大遠隔研修会（学級づくり：赤坂先生 平一小）
3月16日 LQ講演会（講演：田場、東京：JYD主催）

平成31年度

4月1日 平成31年度職員構成
所長（囑託）田場 秀樹
指導主事：兼任：與那覇正人、専任：座間味浩二
＜適応指導教室＞指導教諭：與那覇直美
指導員：松本美智子、下地洋子
＜教育相談室＞教育相談員：乾麗子
4月3日 第19期研究教員入所式
垣花秀幸教諭（南小）、下地美穂教諭（平良中）
小学校プログラミング出前講座 in 西城小
4月5日 沖適連、沖教連総会
5月24日 校内研修担当者研（上越教育大～遠隔）
5月29日 出前講座「遠隔教育講座」池間小中
上越教育大実践センター「遠隔校内研」西城中
上越教育大「赤坂先生：遠隔校内研」平一小
出前講座「電子黒板活用講座」平良中
6月10日 不審者対策訓練（まていだ教室）
6月12日 第19期長期研究教員「中間報告会」森准教授
6月14日 地域連携担当者研修会「上越教育大～遠隔」
6月17日 幼稚園教育課程研究会「上越教育大～遠隔」
6月20日 ベアレントトレーニング（まていだ教室）
6月26日 遠隔教育システム実証研究委員会
6月28日 ずみネット会議①
7月1日 長期研究教員検証授業（南小、平良中：森先生）
7月5日 総務省実証事業「AI活用授業（英語）久松中
7月9日 スクール校外内研修会（池間小中、狩俣中、西辺中）
7月29日 適応指導教室研修会（琉球大 丹野教授）
7月31日 学級づくり校内研（東小：丹野教授）
8月1日 総合的な学習の時間担当者研（遠隔 上越教育大）
8月5日 校務支援システム研修会
8月8日 文科省「遠隔教育システム」実証委員会
8月8日 LQライフスキル教育プログラム研修会A～20日
8月19日 LQライフスキル教育プログラム研修会B～23日
8月22日 栃木県市貝町交流体験（なまりぶしづくり）配信
8月23日 タブレット端末活用講座（久松小）
8月28日 上越教育大学ヒヤリング（西城中、市教委、事務所）
9月13日 長期研修教員研究報告会（琉大：森准教授）
9月19日 電子黒板活用講座（北小）
9月27日 長期研究教員修了式（垣花教諭、下地教諭）
9月30日 電子黒板活用講座（鏡原中）
10月8日 遠隔交流学習（伊良部島小～市貝町）
10月16日 総務省実証事業 AI英会話アプリ活用授業（久松中）
10月25日 遠隔合同授業（理科：池間中～狩俣中～西辺中）
10月29日 遠隔合同授業（理科：池間中～狩俣中～西辺中）
11月13日 幼稚園学力向上推進担当者研修会
11月27日 遠隔教育システム視察（佐渡、新潟）～30日
12月2日 スマートスクール実証事業公開授業・ヒヤリング（久松中）
12月11日 遠隔教育システム実証事業視察・ヒヤリング（結の橋学園）
12月18日 遠隔交流授業（英語：下地中～台湾漢口國民中學）
12月19日 教育研究所運営委員会
1月8日 教師力アップ「教育の情報化」研修会
1月10日 遠隔教育システム授業者連絡協議会
1月23日 熊本県鹿北中遠隔交流会～伊良部島中

- 1月29日 栃木県市貝町(小貝小、おひの里自然学校)訪問
- 1月30日 遠隔教育システム導入実証研究事業連絡会(東京)
- 1月31日 第6回新潟県ICT教育推進連携協議会
- 2月7日 出前講座「プログラミング教育、電子黒板」(狩俣小)
- 2月10日 遠隔合同授業(数学:池間〜狩俣〜西辺)
- 2月12日 長期研究教員実践授業(垣花秀幸教諭、下地美穂教諭)
- 2月21日 遠隔教育システム検討委員会③
- 2月25日 出前講座「5年算数:円と多角形(プログラミング)」
- 2月28日 ずみネット会議②(仲間伸恵先生)
- 長期研究員報告会、適応教室報告会(森力准教授、丹野清彦教授)
- 3月8日 まていた教室にて中学生卒業式
- 3月9日 全国遠隔教育フォーラム遠隔教育システム導入実証研究事業成果報告会
- 3月23日 まていた教室修了式

令和2年度

- 4月1日 令和2年度職員構成
 所長(囑託) 田場 秀樹
 指導主事:兼任:與那覇正人、専任:座間味浩二
 <適応指導教室>指導教諭:砂川恵
 指導員:松本美智子・下地洋子
 <教育相談室>教育相談員:乾麗子・上里啓美
- 4月2日 第20期研究教員入所式
 砂川博喜教諭(北小)、小谷匡輝教諭(平良中)、奥平千里教諭(北幼稚園)
- 6月10日 幼こ初任者研修会①~11日
- 6月17日 幼児教育セミナー①
 講師:長谷川敬子特任教授[上越教育大学]
- 7月10日 宮古地区理科教育研究会 授業者:塩川勝彦、講師:比嘉俊 教授
- 7月13日 第1回ずみネット推進会議
- 7月15日 幼児教育セミナー②
 講師:長谷川敬子特任教授[上越教育大学]
- 7月17日 平一小学校校内研修
 講師:赤坂信二教授[上越教育大学]
- 7月28日 幼こ初任者研修会②(オンライン)
- 7月30日 宮古島市初任者研修会①(オンライン)
 講師:田場秀樹所長
- 7月31日 平一小学校校内研修(オンライン)
 講師:小貫 教授(UD教育)明星大学
- 8月5日 検証授業(北小・平良中にて実施)
- 8月6日 下地こども園園内研修
 講師:白神 准教授(幼児教育)[上越教育大学]
- 9月11日 平一小学校校内研修(オンライン)
 講師:小貫 教授(UD教育)明星大学
- 9月16日 幼児教育セミナー③(オンライン)
 講師:長谷川敬子特任教授
- 9月23日 研究成果報告会(オンライン)
 講師:森力准教授
- 9月30日 第20期長期研究員 修了式
- 10月5日 「GIGA スクール構想研修会 STEP0」講師:座間味浩二 指導主事
 宮古島市内小中校内研修にて実施(オンライン)
- 10月13日 平一小学校校内研修
 講師:小貫 教授(UD教育)明星大学
- 10月14日 上越教育大学幼児教育セミナー④
 講師:長谷川敬子特任教授
- 10月23日 鏡原小学校校内研修「小学校プログラミング教育」
 講師:田場秀樹「GIGA」
- 11月18日 幼児教育セミナー⑤(オンライン)
 講師:長谷川敬子特任教授
- 11月26日 平一小学校校内研修(オンライン) 講師:小貫 教授(UD教育)明星大学
- 12月7日 森のようちえんてくてく、上越教育大学附属幼稚園、上越市内保育所を視察訪問
 参加者:奥平千里研究員、宮國和美アドバイザー
- 1月13日 実践授業①(北小) 講師:森力准教授
- 2月8日 「GIGA スクール構想研修会 STEP1-3」
 講師:コーヨー電子(GoogleforEducationについて)
- 2月26日 実践授業②(平良中) オンラインで実施
 講師:森力准教授
- 3月23日 教育研究所研究発表会 発表者:砂川恵研究員(適応指導教室)、砂川教諭(北小)、小谷教諭(平良中)、奥平千里研究員(北幼稚園)
- 3月23日 第2回ずみネット推進会議
 参加者:砂川力也、垣花秀明、砂川栄作、與那覇正人
- 3月26日 第20期長期研究員修了式(総合庁舎3階会議室)

令和3年度

- 4月1日 令和3年度職員構成
 所長(囑託) 平良 善信
 指導主事(兼任) 古堅秀樹、(専任) 砂川睦紀
 事務職員 羽地 留美
 <適応指導教室>指導教諭:砂川恵
 指導員:松本美智子、下地洋子
 <教育相談室>教育相談員:乾麗子・上里啓美
- 4月2日 第21期研究教員入所式
 上村俊介教諭(平一小)、與那覇督代教諭(久松中)
- 4月14日 長期研究員「研究計画検討会」(オンライン)
 講師:藏満准教授
- 4月19日 上越教育大学幼児教育セミナー①(オンライン)
- 4月20日 ずみネット推進事前会議(琉球大学)(砂川准教授、藏満准教授、仲間准教授)
- 6月2日 令和3年度宮古島市立教育研究所事業説明会
- 6月14日 研究員指導案検討会(オンライン)
 指導助言:藏満准教授
- 6月16日 上越教育大学幼児教育セミナー②(オンライン)
 講師:長谷川敬子特任教授
- 6月24日 第1回宮古島市初任者研修会(オンライン)
 講師:藏満准教授
- 7月15日 運動療育プログラム① 巡回校:平一小・北中
- 7月21日 幼児教育セミナー③(台風襲来のため参加ナシ)
- 8月18日 学校課題解決に向けた研修会(オンライン)
 「学習指導・学習評価」講師:道田泰司教授
- 9月14日 運動療育プログラム② 巡回校:鏡原中・上野中
- 9月15日 運動療育プログラム③ 巡回校:久松幼稚園
- 9月15日 幼児教育セミナー⑤(オンライン)
 講師:山口美和准教授
- 9月17日 第21期長期研究員「研究成果中間報告会」
- 9月17日 第1回宮古島市立教育研究所運営委員会
- 9月28日 第1回ずみ!ネット推進会議(オンライン)
- 10月18日 運動療育プログラム④ 巡回校:伊良部島小中
- 10月19日 運動療育プログラム⑤ 巡回校:下地小
- 10月20日 運動療育プログラム⑥ 巡回校:上野小
- 10月20日 幼児教育セミナー⑥(オンライン)
- 11月11日 運動療育プログラム⑦巡回校:下地こども園・久松中
- 11月12日 運動療育プログラム⑧ 巡回校:城辺小・平良中
- 11月17日 幼児教育セミナー⑦(オンライン)
- 11月30日 令和3年度幼稚園教育課程研究発表会
 講師:岡花祈一郎(琉球大学准教授)
- 12月9日 運動療育プログラム⑨ 巡回校:南小
- 12月10日 運動療育プログラム⑩ 巡回校:東小
- 12月15日 幼児教育セミナー⑧(オンライン)
 講師:宮國和美幼小接続アドバイザー
- 2月17日 運動療育プログラム⑪ 巡回校:東小
- 2月18日 運動療育プログラム⑫ 巡回校:北小
- 3月14日 第2回ずみ!ネット推進会議(3F会議室①)

令和4年度

- 4月1日 令和4年度職員構成
 所長:平良善信、
 指導主事:砂川睦紀、事務職員:羽地留美
 <適応指導教室>指導教諭:与座理恵子
 指導員:松本美智子・平良隆
 <教育相談室>教育相談員:乾麗子・下地洋子
- 4月5日 第22期研究教員オリエンテーション
 佐久本拓実教諭(南小学校)、垣花雄盛教諭(平良中学校)
- 4月28日 中学校スポーツ指導者研修会(琉球大学教育学部砂川力也准教授)
 演題:「科学的根拠に基づくトレーニング指導法とスポーツ活動のあり方」
- 4月28日 第22期研究教員第1回事前研究会、指導助言:砂川力也准教授
- 5月18日 第1回「トビ」育成講座 講師:松見眞希教諭(福島県高浜町立青郷小学校)
- 5月18日 幼児教育セミナー①(オンライン)
- 5月31日 第22期研究教員第2回事前研究会
- 6月14日 運動療育プログラム① 巡回校:南小
- 6月15日 運動療育プログラム②巡回校:平一小
- 6月15日 幼児教育セミナー②(オンライン)
- 6月16日 第1回宮古島市初任者研修会参加者:小中初任者
- 6月31日 第22期研究教員第3回事前研究会
- 7月14日 運動療育プログラム③巡回校:東保育所
- 7月15日 運動療育プログラム④巡回校:久松小
- 7月20日 幼児教育セミナー③
- 7月25日 中堅教諭等資質向上研修(エコ関連施設見学)

7月27日 第2回宮古島市初任者研修会(エコ関連施設見学)
 8月4日 実践研究宮古島ラウンドテーブル 2022
 8月17日 幼児教育セミナー⑤(オンライン)
 講師:森のこどもえんてくてく園長・小菅江美氏
 8月23日 第2期研究教員事前研究協議会
 8月25日 第1回学校課題解決に向けた研修会(兼第2回ミドルター育成講座)(オンライン)
 講師:堤祥晃教諭(高島市立安曇川中学校)
 10月3日 第2期後期研究教員入所式
 佐久本拓実教諭(南小)、垣花雄盛教諭(平良中)
 10月5日 第1回所内研修所長講義
 10月11日 第2回所内研修所長講義
 10月11日 運動療育プログラム⑤巡回校:城辺幼
 10月12日 運動療育プログラム⑥巡回校:平一小
 10月17日 第3回所内研修所長講義
 10月21日 第4回沖縄県中学校社会科教育研究大会
 参加者:垣花雄盛
 10月24日 第4回所内研修所長講義
 10月25日 伊良部島小中学校校内研修参加
 参加者:佐久本拓実、垣花雄盛
 10月31日 南小学校校内研修参加
 参加者:佐久本拓実、垣花雄盛
 11月1日 所外研修「多良川酒造」見学
 参加者:佐久本拓実、垣花雄盛
 11月2日 第2回宮古地区中学校総合文化祭舞台の部
 見学参加者:研究教員
 11月4日 第5回所内研修所長講義
 11月14日 検証授業期間(佐久本拓実) 単元名「フラッグフットボール」～12/1
 11月21日 検証授業期間(垣花雄盛) 単元名「オセアニア州」～11/30
 11月21日 運動療育プログラム⑦巡回校:伊良部こども園
 11月22日 運動療育プログラム⑧巡回校:上野こども園
 12月12日 運動療育プログラム⑨巡回校:西城小
 12月13日 運動療育プログラム⑩巡回校:西辺小
 12月17日 天文学一般講演会【島尻芳人教授】九州共立大学
 講師:川邊良平教授(国立天文台)
 2月13日 南小学校校内研修支援「ポジティブ行動支援」
 講師:下條満代教授(琉球大学)、松山康成教諭(香里カール学院小学校)、上原佳太教諭(ゆたか小学校)
 2月14日 平一小学校校内研修支援「ポジティブ行動支援」
 講師:同上
 2月28日 第2期研究教員「公開授業・研究報告会」
 佐久本拓実教諭(南小学校)
 3月1日 第2期研究教員「公開授業・研究報告会」
 垣花雄盛教諭(平良中学校)
 3月1日 第2回ずみ! ネット推進会議 砂川力也、仲間伸恵、岡本牧子、他5名
 3月30日 令和4年度後期(第2期)研究教員修了式

令和5年度

4月1日 令和5年度職員構成
 所長:平良善信、指導主事:砂川睦紀
 <適応指導教室>指導教諭:与座理恵子
 指導員:松本美智子・平良隆
 <教育相談室>教育相談員:乾麗子・友利尚子
 4月20日 運動療育プログラム①巡回校:下地こども園
 4月21日 運動療育プログラム②巡回校:平一小学校
 5月16日 運動療育プログラム③巡回校:カンガルー保育園
 5月17日 運動療育プログラム④巡回校:南幼稚園
 5月17日 上越教育大学幼児教育セミナー①
 6月14日 運動療育プログラム⑤巡回校:下地中学校
 6月15日 運動療育プログラム⑥巡回校:佐良浜保育所
 6月21日 上越教育大学幼児教育セミナー②
 7月12日 運動療育プログラム⑦巡回校:鏡原中学校
 7月13日 運動療育プログラム⑧巡回校:上野中学校
 7月25日 中堅教諭等資質向上研修「エコ関連施設見学」
 7月26日 中堅教諭等資質向上研修「社会体験研修」～2/7日
 上越教育大学幼児教育セミナー③
 8月4日 宮古島ラウンドテーブル 2023
 8月23日 上越教育大学幼児教育セミナー④
 9月11日 運動療育プログラム⑧巡回校:狩俣幼稚園
 9月12日 運動療育プログラム⑨巡回校:西辺幼稚園
 9月20日 上越教育大学幼児教育セミナー⑤
 10月2日 第2期研究教員入所式
 與那覇將太教諭(久松小)、渡真利彩教諭(鏡原中)
 10月16日 運動療育プログラム⑩巡回校:上野中学校
 10月17日 運動療育プログラム⑪巡回校:平一小学校
 10月18日 上越教育大学幼児教育セミナー⑥
 11月15日 上越教育大学幼児教育セミナー⑦

12月6日 令和5年度宮古島市立教育研究所運営委員会
 12月15日 長期研究員交流事業 第1回交流会
 会場:島尻教育研究所
 12月20日 上越教育大学幼児教育セミナー⑧
 1月25日 長期研究員交流事業 第2回交流会
 会場:石垣市
 1月31日 長期研究員交流事業 第3回交流会
 会場:宮古島市
 2月13日 與那覇將太教諭 公開授業、研究発表会
 2月20日 渡真利彩教諭 公開授業、研究発表会
 3月27日 第2期研究教員修了式

令和6年度

4月1日 令和6年度職員構成
 所長:濱川成共(4～5月)、下地辰彦(6月～)
 指導主事:福原保、事務職員:知念成子
 <適応指導教室>指導教諭:堀田万紀子
 指導員:松本美智子・平良隆
 <教育相談室>教育相談員:乾麗子・友利尚子
 4月2日 第2期研究教員・適応指導教室研究員入所式
 池間強志(北中学校)、堀田万紀子(下地小学校)
 中学校スポーツ指導者研修会
 4月17日 学校司書研修会
 5月16日 学校司書研修会
 5月17日 沖縄県教育研究所連盟「総会・研究協議会」
 沖縄県適応指導教室連絡協議会
 5月22日 上越教育大学幼児教育セミナー①
 5月28日 長期研究員検証授業①
 6月12日 学校司書研修会
 6月18日 長期研究員検証授業②
 運動療育プログラム①巡回校:平良中
 6月19日 運動療育プログラム②巡回校:下地中
 上越教育大学幼児教育セミナー②
 7月3日 ずみネット推進会議①
 7月4日 九州教育研究所連盟臨時総会
 7月9日 研究教員検証授業③
 7月11日 運動療育プログラム③巡回校:東小
 7月12日 運動療育プログラム④巡回校:東幼
 7月17日 上越教育大学幼児教育セミナー③
 7月23日 学校司書研修会
 7月25日 中堅教諭等資質向上研修「社会体験活動」～2/6日
 8月2日 宮古島ラウンドテーブル 2024
 8月13日 初任者・中堅教諭等資質向上研修
 「メンタルヘルス研修会」
 8月14日 初任者・中堅教諭等資質向上研修
 「エコ関連施設見学」
 8月21日 上越教育大学幼児教育セミナー④
 9月10日 研究教員 公開授業、研究発表会
 9月18日 上越教育大学幼児教育セミナー⑤
 9月27日 第2期前期長期研究教員修了式
 池間強志(北中学校)
 10月1日 第2期後期長期研究教員入所式
 宮國博弥(伊良部島中学校)
 10月9日 運動療育プログラム⑤巡回校:平一小学校
 10月10日 運動療育プログラム⑥巡回校:下地小学校
 10月16日 上越教育大学幼児教育セミナー⑥
 10月23日 運動療育プログラム⑦巡回校:上野中学校
 10月24日 運動療育プログラム⑧巡回校:南幼稚園
 11月13日 上越教育大学幼児教育セミナー⑦
 11月19日 学校司書研修会
 11月20日 運動療育プログラム⑨巡回校:平良中学校
 11月21日 運動療育プログラム⑩巡回校:南幼稚園
 11月27日 運動療育プログラム⑪巡回校:上野中・平良中
 11月28日 幼児教育研究協議会
 運動療育プログラム⑫⑬巡回校:東保育園
 11月29日 長期研究員交流事業 第1回交流会 島尻教育研究所
 12月2日 上越教育大学幼児教育P.J学校訪問
 12月9日 長期研究員検証授業①
 12月18日 上越教育大学幼児教育セミナー⑧
 12月19日 教育研究所運営委員会
 1月21日 長期研究員検証授業②
 1月23日 運動療育プログラム⑬巡回校:久松中学校
 1月24日 運動療育プログラム⑭巡回校:まていた教室
 2月28日 ずみネット会議②
 3月5日 福井大学連携協定再締結
 3月14日 令和7年度道徳教育の推進事業に係る委員会訪問
 3月27日 第2期長期研究教員修了式
 福井大学院への派遣検討委員会

令和7年度

令和7年度職員構成

- 4月 1日 所長：下地辰彦
指導主事：福原保、事務職員：知念成子
<適応指導教室>指導教諭：堀田万紀子
指導員：松本美智子・平良隆
<教育相談室>教育相談員：乾麗子・友利尚子
- 4月 7日 小中学校スポーツ指導者研修会
- 5月 21日 上越教育大学幼児教育セミナー①
- 5月 27日 運動療育プログラム①巡回校：鏡原幼稚園
- 5月 28日 運動療育プログラム②巡回校：鏡原小学校
- 6月 10日 運動療育プログラム③巡回校：城辺小学校
- 6月 11日 運動療育プログラム④巡回校：城東中、西城幼
- 6月 18日 上越教育大学幼児教育セミナー②
- 6月 25日 長期研究員事前研修
- 7月 4日 ずみネット会議①
- 7月 16日 上越教育大学幼児教育セミナー③
- 7月 28日 中堅教諭等資質向上研修「社会体験活動」～29日
- 8月 20日 上越教育大学幼児教育セミナー④
- 8月 21日 宮古島ラウンドテーブル2025～22日
- 9月 3日 上越教育大学幼児教育セミナー⑤
運動療育プログラム⑤巡回校：東小学校
- 9月 4日 運動療育プログラム⑥巡回校：平一幼稚園
- 9月 17日 上越教育大学幼児教育セミナー⑥
- 9月 20日 宮古島道徳研修会(youラボ：櫻井宏尚)
- 9月 25日 長期研究員オリエンテーション
- 10月 1日 第26期後期長期研究教員入所式
平良ゆかり(北小)、安里あきの(伊良部島小)
- 10月 9日 長期研究員ミーティング(琉大:白尾先生)
- 10月 15日 上越教育大学幼児教育セミナー⑦
- 10月 21日 運動療育プログラム⑦巡回校：平良中
- 10月 22日 運動療育プログラム⑧巡回校：西城小
- 10月 27日 幼小接続に係る園・学校訪問(宮本先生)
- 11月 19日 上越教育大学幼児教育セミナー⑧
- 11月 20日 長期研究員検証授業(北小、伊良部島小)
- 12月 9日 教育研究所運営委員会
- 12月 13日 学級づくり講演会(丹野先生)
- 12月 17日 上越教育大学幼児教育セミナー⑨
- 12月 25日 適応指導教室から教育支援センターへ名称変更
- 1月 22日 長期研究員検証授業(北小、伊良部島小)
- 2月 26日 長期研究員研究報告会
- 2月 27日 ずみネット会議②
- 3月 27日 第26期長期研究員修了式
福井大学院への派遣検討委員会

令和8年度

令和8年度職員構成

- 所長：下地辰彦
指導主事：砂川博喜、事務職員：上里佐和子
<適応指導教室>指導教諭：平良ゆかり
指導員：平良隆・前泊直子
<教育相談室>
教育相談アドバイザー：乾麗子
教育相談員：友利尚子

X 教育支援センター「まていだ教室」

1 教育支援センターの目的

宮古島市内の心理的要因による不登校児童生徒に対して、個々の状態に応じた指導援助を行い、自立を促進し、社会性を養い、学校教育への適応促進を図る。

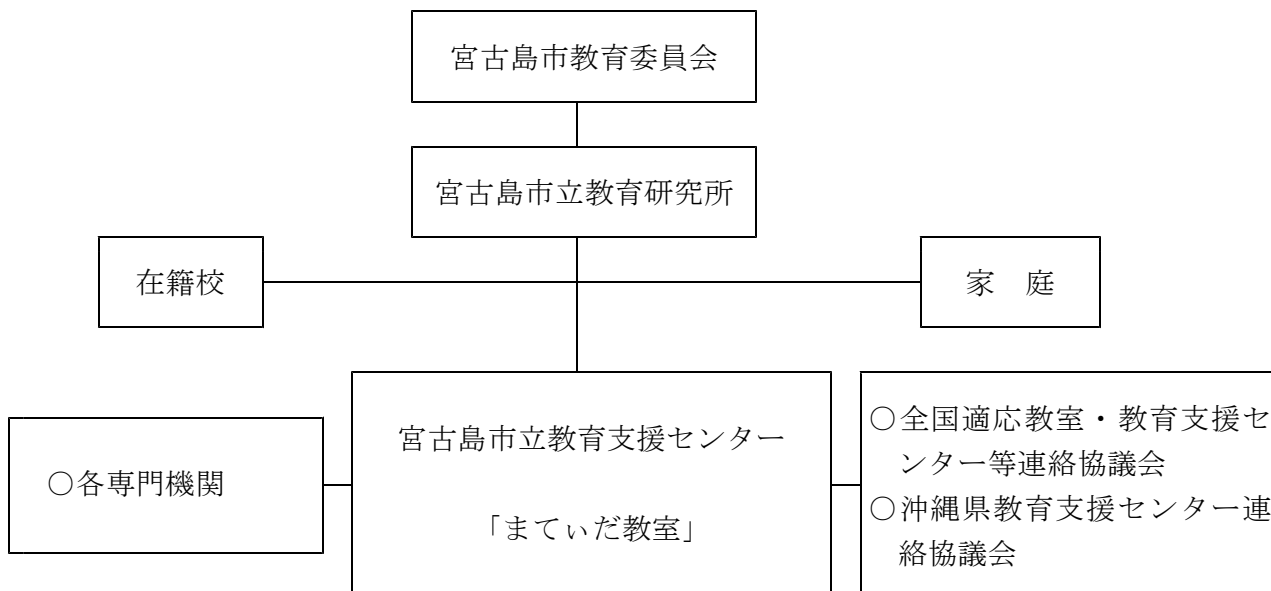
2 経営目標

- (1) 心理的要因によって、不登校や学校不適応を起こしている児童生徒に対し、心身共に安心できる居場所づくりをする。
- (2) 教室での学習活動、体験的な活動を通して人間関係の改善を図り、社会性を身につけさせる。
- (3) 社会的な自立、学校復帰へ向けて、活動への参加意欲を高め、自立心の育成と集団への適応を図る。

3 経営方針

- (1) 児童生徒一人一人のアセスメントを充実させ、個に応じた援助、指導の工夫改善を行う。
- (2) 教育相談、学習活動、体験的な活動を通して、集団活動への適応を図り、社会的な自立を図ると共に、在籍校への復帰を図る。
- (3) 学校、家庭、各関係機関との情報交換を密にし、連携・協力して、児童生徒の学校復帰を支援する。

4 組織図と指導体制



5 名称及び設置場所

名称：宮古島市立教育支援センター「まていだ教室」

住所：〒906-0011 沖縄県宮古島市平良字東仲宗根添 2928 (旧宮原幼稚園舎)

電話/FAX：Tel:0980-73-4149 Fax:0980-73-4149

E-mail：matda.385@miyakojima.ed.jp

6 支援・指導の方針

(1) 通室児童生徒との関わり

- ① 受容的・共感的に接し、信頼と安心感を与え心の解放を目指す。
- ② 様々な体験活動を通して、人間関係の向上を目指す。
- ③ 児童生徒の実態把握に努め、発達段階に応じた適切な学習活動を行い自信を持たせる。

(2) 地域社会との関わり

- ① 地域の人材や教育施設を活用し、社会への参画を図る。
- ② 地域の方々との交流を通して、コミュニケーション力を養う。

(3) 在籍校との関わり

- ① 在籍校との連携を密にし、まていだ教室と学校との行事を把握し、相互に協力しながら、児童生徒への支援を行う。
- ② 交流等を通して学校への帰属感を持たせ、学校復帰を前向きに捉えられるようにする。

7 学校・家庭・教育支援センター・相談室の役割

(1) 学校の役割

- ① 当該児童生徒の校内ケース会議及び校内委員会の開催
- ② 「まていだ教室」担当教諭と担任との事前面談
- ③ 出席状況の確認及び出席簿の処理
- ④ 入室申請の手続き
- ⑤ 保護者への連絡
- ⑥ 担任及び教科担当による学習支援、訪問指導
- ⑦ 保健関係諸調査の連絡・調整
- ⑧ 行事計画、週行事、月行事等の連絡と参加の呼びかけ
- ⑨ 高校入試に関わる諸手続(進路相談や三者面談)
- ⑩ チャレンジ登校時の校内受け入れ体制づくり
- ⑪ 学校復帰時の居場所づくり

(2) 家庭の役割

- ① 学校及び「まていだ教室」との連携と協力
- ② 「まていだ教室」への送迎
- ③ 定期的な面談(学期1回程度)
- ④ 「まていだ教室」行事への協力及び参加

(3) 「まていだ教室」の役割

- ① 保護者及び在籍校との連携
- ② 保護者及び本人との面談
- ③ 在籍校学級担任面談
- ④ 情報交換会の実施
- ⑤ 入室児童生徒への諸援助・指導
- ⑥ 在籍校への情報提供と出席状況報告
- ⑦ 定期テスト等に関する調整・連絡
- ⑧ 児童生徒のチャレンジ登校
- ⑨ 退室児童生徒の援助・指導
- ⑩ ケース会議の開催
- ⑪ 保護者会、三者面談の実施

(4) 相談室の役割

- ① 入室時の面談
- ② 「まていだ教室」との連携と情報共有

8 入室対象児童生徒

宮古島市内の小・中学校に在籍する児童生徒で、心理的要因による不登校で「まていだ教室」への入室を希望する者のうち、教育研究所長が「まていだ教室」における援助指導が望ましいと判断し、かつ、通室が可能な児童生徒を対象とする。

- (1) 学校へ行く意思があるが行けない。
- (2) 登校時になると腹痛、頭痛、嘔吐、発熱などの身体不調を訴える。
- (3) 引きこもり、すくみ傾向があり、学校刺激や登校刺激に対して過剰反応や拒否反応が見られる。
- (4) 対人的な接触を避ける傾向にある。
- (5) 自分の意思を表現するのが極めて乏しく、生活全般において無気力さや消極さが見られる。

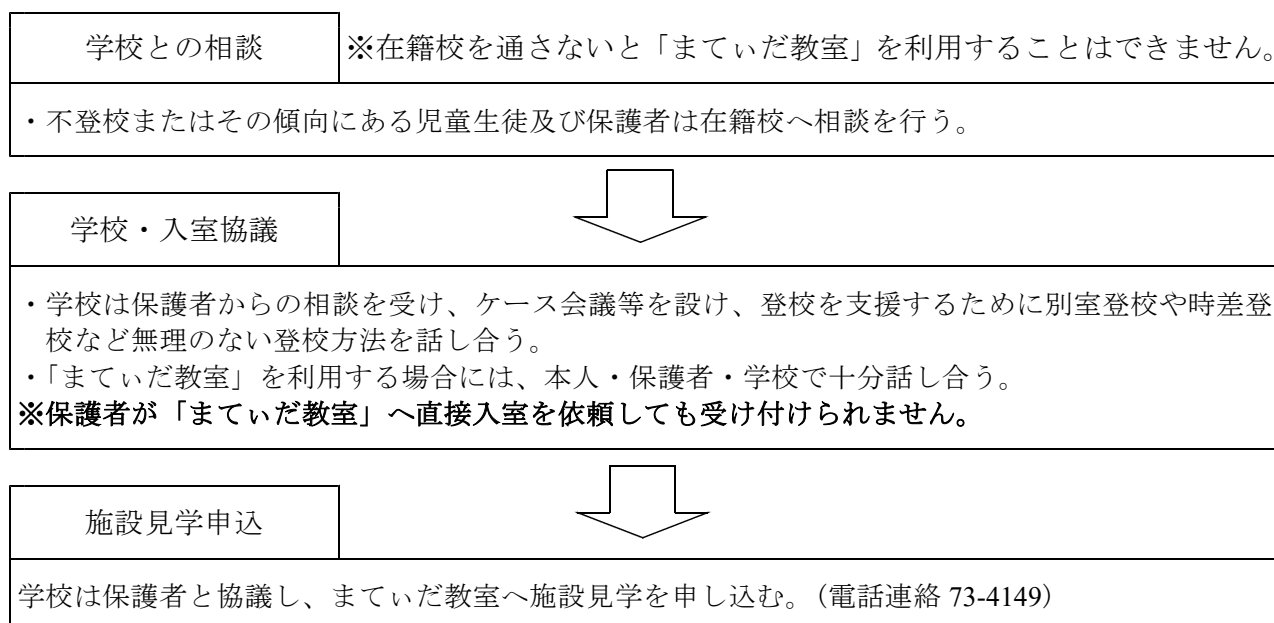
9 入室方針

- (1) 本人及び保護者が「まていだ教室」に通室することを希望している。
- (2) 心理的要因によって登校できない。
- (3) 在籍する学校長が「まていだ教室」への通室を認めている。
- (4) 保護者が「まていだ教室」への送迎が可能である。

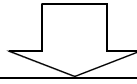
10 退室方針

- (1) 入室児童生徒及び保護者が、「まていだ教室」退室を申し出たとき。
- (2) 入室児童生徒が学校復帰できた状態であり、「まていだ教室」及び教育研究所にて学校復帰が認められたとき。
- (3) 「まていだ教室」での指導や通室が困難と判断されたとき。
- (4) その他（各関係機関と協議の上、退室が妥当と判断されたとき）

11 入室の手順と学校復帰へのプロセス

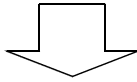


施設見学



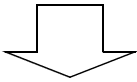
「まていだ教室」指導教諭は、施設や入室に関する説明を行う。
☆施設見学の後、入室が児童生徒にとって相応しいか意見交換する。

体験入室申請・面談



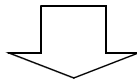
- ・保護者は教育相談及び体験入室希望書（様式第1号）を学校へ提出する。
- ・学校は上記「様式第1号」を教育研究所へ提出するとともに、教育相談室と面談の調整を行い、教育相談員等による面談を実施する。

体験入室判定



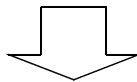
- ・教育研究所は教育相談及び体験入室希望書及び面談資料を基に体験入室について判断する。
- ・教育研究所は教育支援センター「まていだ教室」体験入室通知書を学校へ通知する。

体験入室



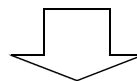
- ・2週間の体験入室開始

本入室協議・ケース会議等



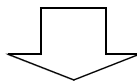
- ・体験入室終了後、速やかに学校でケース会議等を開き、まていだ教室へ入室するか協議し、本人・保護者の意見もふまえ学校長が入室申請するか判断する。

入室申請



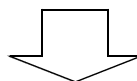
本入室を希望する場合には下記の申請書類を各2部、教育研究所へ提出する。
・入室願書（様式2）は保護者が記入、入室申請書（様式3）は学校が記入
・児童生徒の概要（資料1・2）及び観察フォームによる児童生徒の実態把握（資料3）
※途中入室も上記に準じます。

入室判定



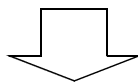
- ・教育研究所にて、入室申請書類及び体験入室を通して児童生徒がまていだ教室に通室することが学校復帰へ向け効果的と判断した場合は、教育支援センター「まていだ教室」入室通知書（様式4）を学校長へ通知する。 ※入室期間は入室した年度の修了式までとする。

まていだ教室通室



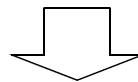
- ・個別相談（本人・保護者）
- ☆適応指導（段階的指導実践）
☆在籍校との連携（通室状況報告・各種課題資料やテスト、評価、担任訪問・学校訪問）
☆在籍校は、当該児童生徒の学校復帰へ向けた学習計画を作成し、まていだ教室へ提出する。

チャレンジ登校



- ・各学期開始や終了前に段階的登校援助を試みる。(部分登校、別室登校など)
- ・まていだ教室の閉室日は修了式の1週間前です。修了式まではチャレンジ登校とする。

学校復帰・退室

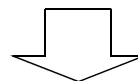


☆学校復帰における退室等

- ・児童生徒の退室は、在籍校とまていだ教室が連携し学校復帰を確認する。
- ・教育研究所は学校復帰が認められ次第、教育支援センター「まていだ教室」退室通知(様式第5号)を学校長へ通知する。

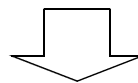
☆入室児童生徒及び保護者が、「まていだ教室」退室を申し出たとき。

新年度当初



- ・新年度当初は進級や進学など、児童生徒の環境が大きく変わります。新しい環境のもと学校復帰をめざし、始業式後2週間程度は原則としてチャレンジ登校を行う。
- ・チャレンジ登校期間は「まていだ教室」への通室はできません。
- ・転校等により学校が変わる場合や進学により校種が変わる場合は、入室申請からの手続きを行う。

継続通室



- ・児童生徒の登校状況をもとに学校でケース会議等を開き、継続して適応指導・援助が必要と認める場合は教育支援センター「まていだ教室」入室継続申請書を教育研究所へ提出する。
- ・教育研究所にて継続指導・援助が必要と認められた場合に教育支援センター「まていだ教室」継続通室承認書を学校長へ通知する。
- ・「まていだ教室」の開室期間は宮古島市立小中学校の授業日に準ずる。

1 2 開室期間及び開室日時

(1) 開室期間：宮古島市立小学校及び中学校の授業日に準ずるものとする。

(但し、学年始めは学校適応期間とし、2週間程度のチャレンジ登校を行う。チャレンジ登校期間中は「まていだ教室」へ通室はできません。継続通室を希望する場合は、学校でケース会議等を開き継続が必要と認められた場合に教育研究所へ継続申請を行う。継続申請中は仮入室の形で受け入れは可能とする)

(2) 開室日：月～金曜日までの週5日間(祝祭日は休み)

(3) 開室時間：月・木・金曜日は8時30分～12時 火・水曜日は8時30分～15時

※長期休業等は市立小中学校に準ずる。

1.3 週時程

	月	火	水	木	金
8:30 ~ 8:45	登室・日誌の記入(スケジュール) コミュニケーション				
8:45 ~ 9:00	清掃・灌水	体力作り	清掃・灌水	体力作り	清掃・灌水
9:00 ~ 9:15	朝の読書活動 (まていだ文庫又は自分の本)				
9:15 ~ 9:25	学習計画				
9:25 ~ 10:10	学習	学習	学習	学習	学習
10:20 ~ 11:05	学習	学習	特別活動	学習	学習
11:15 ~ 12:00	自主活動 日記記録	自主活動	自主活動	自主活動 日記記録	自主活動 日記記録
12:00 ~ 13:00	下校	昼食・休憩		下校	
13:00 ~ 14:50	自宅 学習	体験活動 交流活動	体験活動 交流活動	自宅 学習	自宅 学習
14:50 ~ 15:00		片付け 日記記入	片付け 日記記入		

1.4 主な活動計画

月	教育支援センター「まていだ教室」
4	・チャレンジ登校期間・体験入室等・継続申請受付・入室願書受付(随時受付)
5	・個別面談(個人・保護者)、・教室行事(遠足、平和学習等) ・体験活動(スポーツ、美術、栽培、調理等)、・保護者会(情報交換)
6	・平和集会・体験活動・在籍校との情報交換
7	・体験活動・1学期終業式・チャレンジ登校・保護者面談
8	・2学期始業式・チャレンジ登校
9	・体験活動・保護者会(情報交換)
10	・体験活動
11	・体験活動・教室行事(収穫祭等)
12	・体験活動・2学期終業式・チャレンジ登校・保護者面談
1	・3学期始業式・体験活動・チャレンジ登校
2	・体験活動
3	・劇団鑑賞 ・チャレンジ登校・修了式・閉室式

教育相談及び体験入室希望書(保護者で記入)

宮古島市立教育研究所

所長 _____ 殿

学校名	宮古島市立 _____ 学校 _____ 年 _____ 組
児童・生徒 氏名	ふりがな _____

生年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日 (_____ 才) (男 ・ 女)

上記の児童生徒について、下記の理由により教育相談及び教育支援センター「まていだ教室」への体験入室を希望します。

不登校の主な原因やきっかけと考えられる内容 (本人が話した内容・保護者が思い当たる事等) ----- _____ _____
学校を休んでいる時の家庭での生活の様子 (起床や就寝時間・食事・行動の様子) ----- _____ _____

提出日 : _____ 年 _____ 月 _____ 日

保護者氏名 : _____ 印

住所 : _____

連絡先 : _____

緊急時 : _____

宮古島市立教育支援センター「まていだ教室」体験入室通知書

年 月 日

宮古島市立 学校
 学校長 殿

宮古島市立教育研究所
 所長 印

宮古島市立教育支援センター「まていだ教室」体験入室の可否について、
 下記のとおり通知いたします。

記

児童生徒氏名		学年(性別)	年(男・女)
保護者		続柄	
入室の可否	<input type="checkbox"/> 体験入室を認める <input type="checkbox"/> 体験入室を認めない		
入室する教室	宮古島市立教育支援センター「まていだ教室」		
入室期日	年 月 日 () ~ 年 月 日 () ※「まていだ教室」における体験入室期間は2週間です。		

※体験入室終了後、速やかに学校でケース会議等を開き、「まていだ教室」へ入室するか本人・保護者の意見もふまえ、学校長が入室申請するか判断する。

※学校は入室を申請する場合には体験入室終了後、入室申請書類を教育研究所へ提出する。

宮古島市立教育支援センター「までいだ教室」入室願書(保護者で記入)

宮古島市立 _____ 学校

学校長 _____ 殿

学年組番	学年 組 番	性 別	男 ・ 女
児童・生徒 氏名	ふりがな		
生年月日	年 月 日 (才)		

上記の児童生徒について、下記の理由により宮古島市立教育支援センター「までいだ教室」への入室を申し込みます。

不登校の主な原因やきっかけと考えられる内容 (本人が話した内容・保護者が思い当たる事等)

学校を休んでいる時の家庭での生活の様子 (起床や就寝時間・食事・行動の様子)

保護者として登校をさせるために行っていること

体験入室を終えて子どもの変容

「までいだ教室」に望むこと

提出日： _____ 年 月 日

保護者氏名： _____ 印

住所： _____

連絡先 (自宅)： _____

(緊急時)： _____

宮古島市立教育支援センター「まていだ教室」入室申請書

宮古島市立教育研究所

所長 _____ 殿

提出日 _____ 年 月 日

宮古島市立 _____ 学校

学 校 長 _____ 印

下記の児童生徒について、宮古島市立教育支援センター「まていだ教室」への入室を申請します。

(ふりがな)		第 学年 組 番
児童・生徒名		性別 (男 ・ 女)
生年月日	年 月 日 (才)	担任名 :

指導の経過・留意点等 (学級担任及び学校カウンセラー、教育相談員との協議等)

学校長所見 (今後の学校としての関わり等)

宮古島市立教育支援センター「までいだ教室」入室通知書

年 月 日

宮古島市立 学校
学校長 殿

宮古島市立教育研究所
所長 印

宮古島市立教育支援センター「までいだ教室」入室の可否について、
下記のとおり通知します。

記

児童生徒氏名		学年(性別)	年(男・女)
保護者		続柄	
入室の可否	<input type="checkbox"/> 入室を認める <input type="checkbox"/> 入室を認めない		
入室する教室	宮古島市立教育支援センター「までいだ教室」		
入室期日	年 月 日() ~ 年 月 日()		

【留意事項】

- 1 入室にあたっては、担当教諭への十分な調整や情報提供等の協力をお願いします。
- 2 在籍校担任は、児童生徒の習熟度に応じた学習課題の準備を宜しくをお願いします。
- 3 援助活動について、場合によっては在籍校内での活動を行いますのでご配慮をお願いします。

宮古島市立教育支援センター「までいだ教室」退室通知書

年 月 日

宮古島市立 学校
学校長 殿

宮古島市立教育研究所
所長 印

教育支援センター「までいだ教室」における指導の終了及び退室について、
下記のとおり通知します。

記

児童生徒氏名		学年(性別)	年 (男・女)
保 護 者		続 柄	
退室する教室	宮古島市立教育支援センター「までいだ教室」		
退 室 期 日	年 月 日 ()		

宮古島市立教育支援センター「まていだ教室」入室継続申請書

令和 年 月 日

宮古島市立教育研究所
 所長 殿

宮古島市立 学校
 校長 印

前年度より、「まていだ教室」へ入室しておりました本校児童生徒について、
 学校復帰に向けた支援の継続が必要と判断し、保護者の同意の下、下記のとおり
 継続通室を申請します。

記

児童生徒名		学年（性別）	年（男・女）
保護者名	印	続 柄	
学級担任名		学 級	年 組
入室する教室	宮古島市立教育支援センター「まていだ教室」		
入室申請日	令和 年 月 日		

宮古島市立教育支援センター「まていだ教室」継続通室承認書

令和 年 月 日

宮古島市立 学校
 学校長 殿

宮古島市立教育研究所
 所長 印

下記の児童生徒において、継続通室が必要と認められたので通知いたします。

記

児童生徒名		学年（性別）	年（男・女）
保護者名		続柄	
学級担任名		学級	年組
入室する教室	宮古島市立教育支援センター「まていだ教室」		
入室期日	令和 年 月 日		

児童生徒の概要

宮古島市立 学校 年 組 番 担任 印

児童 生徒	ふりがな 氏名 (性別)			保護 者	ふりがな 氏名			
	生年月日	年 月 日 (歳)			自宅電話			
	住 所	宮古島市			携帯電話			
					続 柄	年齢	歳	
1 家族構成								
	氏 名	年齢	職業	続柄	氏 名	年齢	職業	続柄
2 児童生徒をとりまく家庭環境（保護者の教育への関心、経済的な状況、祖父母や兄弟との関係、その他）								
3 ①不登校が始まった学年からの出席日数								
学 年	出席日数	出席すべき日数	備 考					
3 ②現年度の出席日数 記入例：2 / 15（出席2日 出席すべき日数15日）								
月	出席日数	月	出席日数	月	出席日数	月	出席日数	備 考
4	/	5	/	6	/	7	/	
8	/	9	/	10	/	11	/	
12	/	1	/	2	/	3	/	合計 /
4 前年度指導要録に記載された各教科の評定								
国語	社会・生活	算数・数学	理科	音楽	体育	図工・美術	技術・家庭科	外国語

資料 2

5 欠席届出の理由

(1) 欠席の理由

(2) 欠席したときの保護者の対応の様子

6 登校したときの学校での様子

7 指導の経過

8 所見（要因、問題点、これからの指導のあり方等）

9 指導上の留意点（「まていだ教室」で指導するとき考慮してほしいこと等）

10 その他

資料 3

観察フォームによる児童生徒の実態把握（各観点对し、該当する判断基準に○を記入）

項目	観点	○	判断基準	項目	観点	○	判断基準	項目	観点	○	判断基準
自立	登校		送迎すると登室できる	対人関係	視線		相手の顔や目を見ることができない	家庭生活	起床		まったく時間通りに起きることができない
			自分の意思で登室できる				うつむきがちだが相手を見ることができる				時々、時間通りに起きることができない
			10時までには登室できる				時々なら、相手の顔を見ることができる				ほぼ時間通りに起きることができる
			9時までには登室できる				気の合う人とは、目を合わせることができる				起床時間はしっかり身につけている
			遅刻せずに登室できる				誰とでも目を合わせることができる				時間通りに起きて諸準備をする事ができる
	挨拶		挨拶をする意思がない	反応		何に対してもまったく反応を示さない	朝食		少しも朝食を食べることができない		
			挨拶をする意思がある			興味あるものには反応できる			たまに朝食を抜くことがある		
			声をかけられると挨拶をする			気の合う人に微笑むことができる			準備をしてもらえると朝食を食べることができる		
			自ら進んで挨拶ができる			声を出して笑うことができる			毎日、少しでも朝食を食べることができる		
			誰とでも挨拶することができる			話に共感しながら笑うことができる			毎日、朝食をしっかり食べることができる		
	活動		指示しても活動しない	会話		話をする事ができない	外出		ほとんど家から出ることが無い		
			指示されると気分によって活動できる			話の輪の中に入ることができる			休みの日なら外に出ることがある		
			誰かが一緒なら活動できる			気の合う人とはおしゃべりができる			家族や身近な人となら外出できる		
			指示されて活動ができる			自分の気持ちを話すことができる			家の近くであれば、一人で外出できる		
	集中力		自分で考えて活動ができる		誰とでもおしゃべりができる		自転車を利用し、一人で帰ることなく外出できる	帰宅		家に帰らないときもある	
			まったく集中できない	遊び		遊びに入ろうとしない			決まった時間に帰ることはほとんど無い		
			興味・関心があるものは集中できる			遊ばないが、見ていることができる			誰かが迎えると、帰宅する頃ができる		
			何事もある程度集中できるがむらがある			誘われたら遊ぶことができる			門限があり、決まった時間に帰ることが多い		
		何事もある程度集中できる			気の合う人となら遊ぶことができる		毎日、心配なく決まった時間に帰ることができる				
	学習		何事も根気強く集中できる	気遣い		手をかきつけてみんなと遊ぶことができる	就寝		時間通りに寝ることができない		
		学習をする意思がない			相手を気遣う意思がない			12時までには時間通りに寝ることができる			
		学習に関する話題に耳を傾けることができる			声をかけると気遣うことができる			11時までには時間通り寝ることができる			
		短時間なら与えられた課題に取り組むことができる			決められている事には取り組むことができる			10時までには時間通りに寝ることができる			
	短時間なら学習計画を立て課題に取り組む事ができる		身近な人には気遣うことができる		誰とでも気遣う事ができる		早めに就寝し、十分睡眠をとることができる				
	自ら学習計画を立て、粘り強く学習することができる										

指導上の留意点（問題点・本人の性格・「まていだ教室」での配慮など）

宮古島市立教育研究所設置条例

平成 18 年 3 月 31 日
宮古島市条例第 25 号

(設置)

第 1 条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 30 条の規定に基づき、教育に関する専門的、技術的事項の研究及び教育職員の研修に資するため、教育研究所を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 教育研究所の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 宮古島市立教育研究所

位置 宮古島市平良字西里 1140 番地

(平 24 条例 33・全改、令 2 条例 40・一部改正)

(事業)

第 3 条 宮古島市立教育研究所(以下「研究所」という。)は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 教育に関する専門的、技術的事項の調査及び研究に関すること。
- (2) 教育職員の研修に関すること。
- (3) 教育関係資料の収集及び活用等に関すること。
- (4) 研究成果の普及に関すること。
- (5) その他教育委員会が必要と認める事項に関すること。

(職員)

第 4 条 研究所に所長、その他必要な職員を置く。

(委任)

第 5 条 この条例の施行に関し必要な事項は、別に教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 24 年 6 月 29 日条例第 33 号)

この条例は、平成 24 年 7 月 1 日から施行する。

附 則(令和 2 年 9 月 30 日条例第 40 号)

この条例は、公布の日から起算して 6 月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(令和 2 年教委規則第 16 号で令和 3 年 1 月 1 日から施行)

宮古島市立教育研究所設置条例施行規則

平成 18 年 3 月 31 日
教育委員会規則第 1 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、宮古島市立教育研究所設置条例(平成 18 年宮古島市条例第 25 号。以下「条例」という。)第 5 条の規定に基づき、宮古島市立教育研究所(以下「研究所」という。)の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(研究協力機関等)

第 2 条 研究所は、必要に応じ市内の幼稚園、小学校、中学校、その他の機関等を研究協力機関又は協力団体として指定することができる。

(研究教員)

第 3 条 教育職員は、教育に関する専門的、技術的事項の調査研究のための研究教員として研究所に入所することができる。

- 2 研究教員が研究に従事する期間は、1 年以内とする。
- 3 研究教員は、教育職員のうちから、教育長が選考する。

(修了証書)

第 4 条 前条の規定により、所定の研修を終えた者に対しては、修了証書を授与する。

(職員)

第 5 条 研究所に所長、指導主事、事務職員その他必要な職員を置くことができる。

- 2 所長は、教育長の命を受けて、所務を掌理し、所属職員を指導監督する。
- 3 指導主事は、所長の命を受けて研究調査及び指導業務に従事する。
- 4 事務職員は、所務に従事する。

(研究協力員)

第 6 条 研究所の事業を遂行するため、必要に応じ、研究協力員を置くことができる。

- 2 研究協力員の任期は、1 年以内とし、教育職員のうちから、教育長が委嘱する。ただし、再任を妨げない。

(委任)

第 7 条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

宮古島市立教育研究所運営委員会規則

平成 18 年 6 月 1 日
教育委員会規則第 5 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、宮古島市附属機関設置条例(令和元年宮古島市条例第 28 号)第 3 条の規定に基づき、宮古島市立教育研究所運営委員会(以下「運営委員会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第 2 条 運営委員会は、所長の諮問に応じ、次の事項について審議し、答申する。

- (1) 宮古島市立教育研究所の管理運営に関する事項
 - (2) その他教育長の諮問事項
- (令元教委規則 15・一部改正)

(組織)

第 3 条 運営委員会は、10 人以内の委員で組織し、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験者
 - (2) 教育職員
 - (3) その他教育長が必要と認める者
- (令元教委規則 15・一部改正)

(任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠委員の任期は、前任者の在任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 運営委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、運営委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、平成 18 年 4 月 1 日から適用する。

附 則(令和元年 12 月 26 日教委規則第 15 号)

この規則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

宮古島市立教育研究所研究協力委員会設置要綱

平成 23 年 6 月 28 日
教育委員会訓令第 9 号

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、宮古島市立教育研究所(以下「研究所」という。)における事業推進にあたり、宮古島市立教育研究所設置条例施行規則(平成 18 年宮古島市教育委員会規則第 1 号)第 6 条に基づき、宮古島市立教育研究所研究協力委員会(以下「委員会」という。)を設置し、その組織及び運営に必要な事項を定める。

(所掌事項)

第 2 条 委員会は、研究所の事業の遂行のために、次の事項について調査研究に協力する。

- (1) 教育に関する専門的、技術的事項の調査及び研究に関すること。
- (2) 教育関係職員の研修に関すること。
- (3) 教育関係資料の収集及び活用等に関すること。
- (4) 研究成果の普及に関すること。
- (5) その他教育委員会が必要と認める事業に関すること。

(組織)

第 3 条 委員会は、研究協力員(以下「委員」という。)20 人以内で組織する。

2 委員は、教育職員のうちから教育長が委嘱する。

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は、1 年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員の欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によって定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

(庶務)

第 7 条 委員会の庶務は、研究所の指導主事とする。

(補足)

第 8 条 この要綱で定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

宮古島市立教育研究所研究教員に関する規程

平成 18 年 6 月 1 日
教育委員会訓令第 4 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、宮古島市立教育研究所設置条例施行規則(平成 18 年宮古島市教育委員会規則第 1 号)第 7 条の規程に基づき、宮古島市立教育研究所の研究員について必要な事項を定めるものとする。

(資格)

第 2 条 研究教員は、宮古島市立学校の教育職員で、教職経験 3 年以上の者であることを原則とする。

(志願)

第 3 条 研究教員を志願する者は、志願書(様式第 1 号)に研究計画書(様式第 2 号)、履歴書(様式第 3 号)及び所属長の推薦書(様式第 4 号)をそえて、研究所所長に提出するものとする。

(研究方法及び報告)

第 4 条 研究教員は、研究所の指導のもと、学校、園及び個人の課題に基づき研究課題を設定して研究するものとする。

2 研究教員は、それぞれの研究の修了日までに、その研究の成果を報告書にまとめ、研究所長に提出するとともに、研究発表を行うものとする。

(経費)

第 5 条 研究教員の研究に必要な経費は、予算の範囲内で支出し、それをこえる分については研究員の負担とする。

(服務)

第 6 条 研究教員の服務は、宮古島市立学校職員服務規程(平成 17 年宮古島市教育委員会訓令第 11 号)第 1 条第 2 条を準用する。

附 則

この訓令は、公布の日から施行し、平成 18 年 4 月 1 日から適用する。

宮古島市立教育研究所図書及び資料貸出規程

平成 18 年 6 月 1 日
教育委員会訓令第 3 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、宮古島市立教育研究所(以下「研究所」という。)に保管する図書及び資料(以下「図書等」という。)の貸し出しに関し、必要な事項を定めるものとする。

(貸出期間及び冊数)

第 2 条 室外貸し出しは、図書については 2 冊以内、資料については 3 冊以内とし、貸し出し期間は 2 週間以内とする。

- 貸し出し期間の延長を受ける場合は、その旨届け出て、所長の承認を得なければならない。
- 所長は、研究所の研究に必要があると認めた場合は、図書等の貸し出し期間内にかかわらず返還を求めることができる。

(図書等の転貸禁止)

第 3 条 貸し出しを受けた者は、他人に図書等の転貸しをしてはならない。

(貸出禁止)

第 4 条 重要な資料の貸し出しは行わない。ただし、所長が認める場合はその限りではない。

(手続き)

第 5 条 図書等の貸し出しを受けようとするものは、研究所に備えつけの貸出簿に必要事項を記入し、係員に提出しなければならない。

(弁償及び利用禁止)

- 第 6 条 貸し出しを受けた図書等を紛失し、又は、著しく損傷した場合は、同一の図書等を代納又は、実費を納入しなければならない。
- 図書等の返還を著しく遅滞した者にたいして所長は一定の期間、図書等の利用を禁止することができる。

附 則

この訓令は、公布の日から施行し、平成 18 年 4 月 1 日から適用する。

宮古島市立教育支援センター設置規則

令和5年2月24日
教育委員会規則第3号

宮古島市立適応指導教室設置規則（令和5年宮古島市立教育委員会規則第3号）の一部を改正する。

（趣旨）

第1条 この規則は、宮古島市立教育支援センター（以下「教育支援センター」という。）の設置及び管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。（令7教委規則6・一部改正）

（設置）

第2条 宮古島市の心理的要因によって登校できない児童生徒の学校教育への適応促進及び社会的自立を図るために、教育支援センターを設置する。

2 教育支援センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

- (1) 名称 宮古島市立教育支援センター「まていだ教室」
- (2) 位置 宮古島市平良字東仲宗根添 2928 番地 （令7教委規則6・一部改正）

（管理運営）

第3条 教育支援センターの管理運営は、宮古島市立教育研究所所長（以下「教育研究所長」という。）が行う。（令7教委規則6・一部改正）

（対象者）

第4条 教育支援センターの入室対象者は、次に掲げる条件に該当する児童生徒とする。

- (1) 心理的要因によって登校できない宮古島市立小学校及び中学校に在籍する児童生徒で、教育研究所長が教育支援センターにおける指導が望ましいと判断し、かつ、通室が可能な児童生徒
- (2) 本人及び保護者が、教育支援センターに通室することを希望する児童生徒
- (3) 在籍校の学校長（以下「学校長」という。）が、教育支援センターに通室することを認める児童生徒 （令7教委規則6・一部改正）

（出席の認定）

第5条 通室児童生徒が教育支援センターに通室した日は、指導要録上、在籍校に出席したものとみなす。（令7教委規則6・一部改正）

（指導内容）

第6条 教育支援センターの指導内容は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 学習指導 当該児童生徒の学習状況を踏まえ、在籍校と連携のもと学習指導を行う。
- (2) 体験活動 社会見学、スポーツ活動、野外活動、調理実習、創作活動等を通じ、社会性及び協調性を培う指導を行う。
- (3) 相談活動 集団生活、悩み、進路など当該児童生徒の課題についての相談を通して、自己理解及び自己実現への支援を行う。（令7教委規則6・一部改正）

（開室期間等）

第7条 教育支援センターの開室期間は、宮古島市立小学校及び中学校の授業日に準ずるものとする。ただし、学年始めは3週間程度の学校適応期間をおくものとする。

2 開室時間は、午前8時30分から午後5時15分までとする。

（令7教委規則6・一部改正）

（職員）

第8条 教育支援センターに指導教諭及び指導員を置く。

2 指導教諭は、県費負担の教諭をもって充てる。

- 3 指導員の身分は、地方公務員法（昭和 25 年法律第 261 号）第 22 条の 2 第 1 項第 1 号に規定する会計年度任用職員とし教育長が任用する。
- 4 指導員の任期は、その任用の日から同日の属する会計年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。（令 7 教委規則 6 ・ 一部改正）

（職員の職務）

第 9 条 指導教諭は、教育支援センターの運営と児童生徒の指導に当たる。

- 2 指導員は、指導教諭を補佐し、教育支援センターの運営や児童生徒の指導が円滑に行われるようにする。（令 7 教委規則 6 ・ 一部改正）

（報酬等）

第 10 条 教育支援センターの指導員の報酬、手当及び費用弁償については、宮古島市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例（令和元年宮古島市条例第 29 号）の定めるところによる。（令 7 教委規則 6 ・ 一部改正）

（勤務条件）

第 11 条 教育支援センターの指導員の勤務は、週 3 日以内とし、勤務する日は、休日を除き月曜から金曜日までの 1 日 7 時間 45 分とする。ただし、職務の遂行上、所属長が必要と認めた場合は、週 23 時間 15 分の範囲内で勤務時間の割り振りを変更することができる。

（令 7 教委規則 6 ・ 一部改正）

（入室の決定及び通知）

第 12 条 入室の決定及び通知に係る手続は、次の各号の区分に応じ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 入室の決定 入室を希望する児童生徒の保護者は、教育相談及び体験入室希望書（様式第 1 号）を教育研究所長に提出し、教育相談を受けた後に、教育支援センター「まていだ教室」入室願書（様式第 2 号）を学校長に提出し、学校長は、教育相談の所見を参考に、教育支援センターにおける指導が必要と判断したときは、教育支援センター「まていだ教室」入室申請書（様式第 3 号）及び教育支援センター「まていだ教室」入室願書の写しを教育研究所長に提出するものとする。
- (2) 入室の通知 教育研究所長は、教育支援センターに通室することが学校復帰に向けて効果的と判断した場合には入室を認め、教育支援センター「まていだ教室」入室通知書（様式第 4 号）により学校長へその旨を通知するものとする。（令 7 教委規則 6 ・ 一部改正）

（退室の通知）

第 13 条 教育研究所長は、通室児童生徒に関する教育支援センターでの通室指導が終了したとき、又は指導が困難と認めたときは、当該通室児童生徒の退室を決定し、教育支援センター「まていだ教室」退室通知書（様式第 5 号）により学校長へその旨を通知するものとする。

（令 7 教委規則 6 ・ 一部改正）

（補則）

第 14 条 この規則に定めるもののほか、教育支援センターの運営上必要な事項については、教育長が別に定める。（令 7 教委規則 6 ・ 一部改正）

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（令和 7 年 1 2 月 2 5 日教委規則第 6 号）

この規則は公布の日から施行する。

宮古島市教育相談室設置規則

平成 17 年 10 月 1 日
教育委員会規則第 8 号

(設置)

第 1 条 宮古島市の問題行動や様々な悩みを持つ児童生徒の健全育成を支援するために、教育相談室を設置する。

(平 26 教委規則 8 ・ 一部改正)

(開室時間)

第 2 条 開室日は、毎週月曜日から金曜日までの 5 日間とする。ただし、宮古島市の休日を定める条例（平成 17 年宮古島市条例第 2 号）に定める休日は休みとする。

2 開室時間は、午前 8 時 30 分から午後 4 時 30 分までとする。

(任用等)

第 3 条 教育長は、児童生徒の健全育成に関して熱意を有する者のうちから、教育相談アドバイザー（以下「アドバイザー」という）及び教育相談員（以下「相談員」という）を任用する。ただし、アドバイザーとしての確かな人物がいけない場合には、相談員のみの任用でもよい。

2 アドバイザー及び相談員は、教員免許を持つ教職経験者でなければならない。

3 アドバイザーは、前項の規定に加え、以下に掲げる各号のいずれかに当てはまるものでなければならない。

ア 相談員又はこれと同等の職において 5 年以上勤務した経験がある者

イ 上級心理カウンセラー等の資格がある者

4 任用人数は、アドバイザー又は相談員を合わせて 2 人とする。ただし、アドバイザーの任用は 1 人以内とする。

(平 26 教委規則 8 ・ 令 2 教委規則 8 ・ 令 4 教委規則 4 ・ 一部改正)

(任用期間)

第 4 条 アドバイザー及び相談員の任用期間は、その任用の日から同日の属する会計年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

(平 26 教委規則 8 ・ 全改、令 2 教委規則 8 ・ 令 4 教委規則 4 ・ 一部改正)

(職務)

第 5 条 アドバイザー及び相談員は、児童生徒の健全育成にかかわる必要な事項について相談を受け、児童生徒教師・保護者の悩み解決を支援する。

2 前項に規定する支援の方法は、次のとおりとする。

(1) 学校訪問相談

(2) 不登校児童生徒等の家庭訪問

(3) 相談室登校児童生徒への支援

(4) ケース会議等への参加又は学校職員と連携した教育活動支援（必要に応じて登校支援）

3 アドバイザーは、前 2 項に定める業務に加え、学校教育における課題の多様化に対応した教育相談全般に係るアドバイスをする。

(平 28 教委規則 1 ・ 令 4 教委規則 4 ・ 一部改正)

(服務)

第 6 条 アドバイザー及び相談員は、教育長の命を受けて職務に従事するものとする。

2 アドバイザー及び相談員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職務を退いた

後も、また同様とする。

(平 26 教委規則 8 ・ 令 4 教委規則 4 ・ 一部改正)

(勤務条件)

第 7 条 アドバイザー及び相談員の勤務は、宮古島市教育委員会会計年度任用職員に関する規程(令和 2 年宮古島市教育委員会訓令第 5 号)に規定するとおりとする。

(平 26 教委規則 8 ・ 追加、令 2 教委規則 8 ・ 令 4 教委規則 4 ・ 一部改正)

(報酬等)

第 8 条 アドバイザー及び相談員の報酬、手当及び費用弁償については、宮古島市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例(令和元年宮古島市条例第 29 号)の定めるところによる。

(令 2 教委規則 8 ・ 全改、令 4 教委規則 4 ・ 一部改正)

(補則)

第 9 条 この規則に定めるもののほか、アドバイザー及び相談員に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

(平 26 教委規則 8 ・ 旧第 8 条繰下、令 4 教委規則 4 ・ 一部改正)

附 則

この規則は、平成 17 年 10 月 1 日から施行する。

附 則(平成 26 年 3 月 27 日教委規則第 8 号)

この規則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 28 年 3 月 28 日教委規則第 1 号)

この規則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(令和 2 年 3 月 31 日教委規則第 8 号)

この規則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(令和 4 年 3 月 25 日教委規則第 4 号)

(施行期日)

1 この規則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

(準備行為)

2 教育長は、この規則の施行の前においても、会計年度任用職員の任用に関する手続その他この規則の施行に関し必要な準備行為をすることができる。

宮古島市立教育研究所

所 長 下地 辰彦

指導主事 砂川 博喜

〒906-8501

沖縄県宮古島市平良字西里1140番地

TEL 0980-73-1104 FAX 0980-73-1976